

**町田市民の保健医療意識調査
報告書
(概要版)**

2023年3月

町田市

目次

I	調査の概要	2
1	調査の目的.....	2
2	調査対象.....	2
3	調査期間.....	2
4	調査方法.....	2
5	回収状況.....	2
6	報告書のみかた.....	2
II	調査結果	3
1	日常生活について（身体活動・運動）.....	3
	（1）普段の身体活動.....	3
	（2）コロナ禍の変化（身体、精神状況）.....	4
2	健康情報について.....	5
3	食生活について.....	6
	（1）「食育」について.....	6
	（2）朝食について.....	7
	（2-1）朝食を食べない理由.....	8
	（3）主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度.....	9
	（4）野菜の摂取量.....	9
	（5）食事をする相手.....	10
	（6）「食品ロス」の認知状況.....	13
	（6-1）「食品ロス」を削減するために取り組んでいること.....	14
	（7）「あて名のお子さん」の農林漁業体験の有無.....	15
	（8）町田産農作物について.....	15
	（9）災害に備えた食料や物品の用意.....	17
4	こころの健康・休養について.....	19
	（1）悩みやストレス.....	19
	（2）健康状態.....	20
	（3）休養.....	21
	（4）相談できる相手の有無.....	22
	（5）相談することに対するためらい.....	23
	（6）こころの相談の相談先の認知状況.....	25
	（7）自殺対策.....	25
	（8）家族がひきこもりに状態になった場合の対応.....	28
5	たばことアルコール飲料について.....	29
	（1）喫煙状況.....	29
	（2）受動喫煙の経験.....	30
	（3）飲酒状況.....	30

6	健康診査・検診について	31
	(1) 健康診査・検診状況	31
7	歯と口の健康について	33
	(1) 現在の歯の本数	33
	(2) かかりつけ歯科医院の有無	33
	(3) オーラルフレイルの周知度	34
	(4) 口腔ケアが十分に行われないと悪化させる病気	34
8	医療について	35
	(1) 「かかりつけ医」の有無	35
	(2) 医療機関の満足度	36
	(3) 人生の最期を迎えたい場所	36
9	災害時の医療について	37
	(1) 災害時の医療体制の認知状況	37
	(2) 「緊急医療救護所」の認知状況	37
10	薬について	38
	(1) 「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」の有無	38
	(2) 「お薬手帳」の有無	38
11	動物愛護について	39
	(1) ペットの有無	39
12	薬物乱用問題について	39
	(1) 薬物乱用問題の認知状況	39
	(2) 薬物乱用に関する危険性についての情報の入手先	40
13	幸福度について	41
	(1) 幸福度	41
14	子育てについて	41
	(1) ぐらしや生活のゆとり	41
	(2) 子育てに思うこと	43
	(3) 乳幼児期にあったら良いと思う講座等	44

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「(仮称) まちだ健康づくり推進プラン 24-31」の策定に向け、市民の健康や医療に対する意識、意見等を調査することにより、現状を把握し、新たな政策課題の抽出を行うことを目的として実施しました。

2 調査対象

市内在中の成人、青少年保護者、未就学児保護者

3 調査期間

2022年8月5日(金)～2022年8月31日(水)

4 調査方法

配布：郵送 回収：郵送、WEB

5 回収状況

回収状況は以下の通りです。

	A	B	C	D	E	F	G
	配布数	郵送 回答数	WEB 回答数	総回答数 (B+C)	全体回収率 (D/A)	前回 回収率	前回比
成人(※)	3,000通	952通	392通	1,344通	44.8%	49.0%	▲4.2%
青少年保護者	1,000通	286通	298通	584通	58.4%	57.9%	+0.5%
未就学児保護者	1,000通	339通	279通	618通	61.8%	61.1%	+0.7%
総計	5,000通	1,577通	969通	2,546通	50.9%	55.0%	▲4.1%

(※) 成人：2016年度調査時の配布数は1,500通。

6 報告書のみかた

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の各項目の回答の合計を足上げた場合、回答者数を上回るため、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「n」とは、当該設問の対象となる人数を表します。そのため、回答すべき対象者の絞り込みを行っている場合には、アンケートの回収数と「n」の数値は異なる場合があります。
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。
- 特定の選択肢を選んだ方だけに質問するなどの質問の流れによっては、質問の回答者数が少なくなる場合があります。

Ⅱ 調査結果

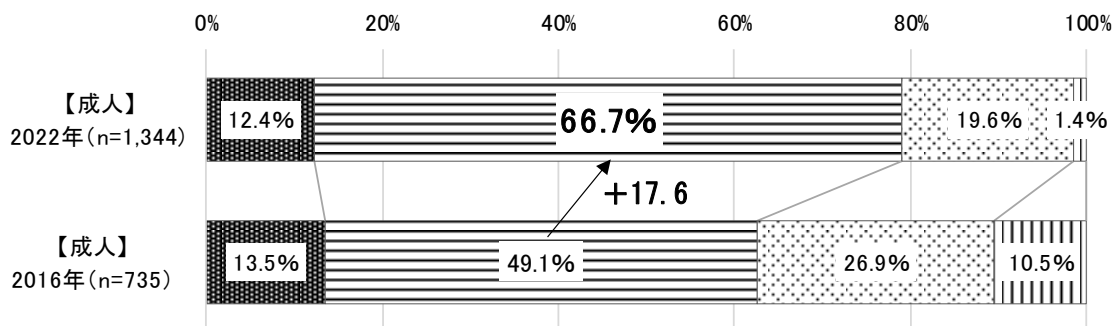
1 日常生活について（身体活動・運動）

(1) 普段の身体活動

① 普段の身体活動について。(〇は1つ)

「生活の大部分が座った状態だが、仕事や家事、学業で移動や立った状態での作業等を行っている」の割合が66.7%と最も高くなっています。

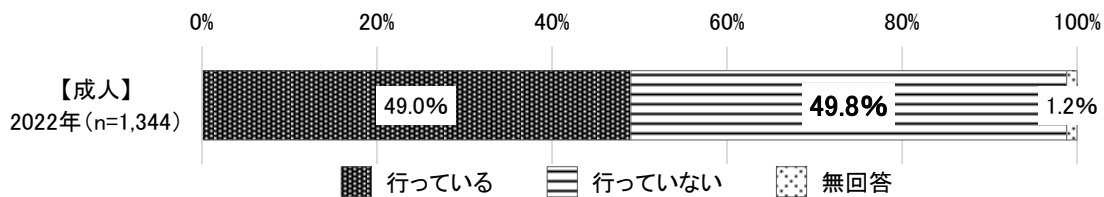
この結果を、2016年調査と比較すると、「生活の大部分が座った状態だが、仕事や家事、学業で移動や立った状態での作業等を行っている」の割合が17.6ポイント増加しています。



- 生活の大部分が座った状態で、外出は車を使用し、階段等もあまり使わない静的な活動が中心
- ▨ 生活の大部分が座った状態だが、仕事や家事、学業で移動や立った状態での作業等を行っている
- ▩ 移動や立っている時間が長い、あるいは、余暇における活発な運動習慣を持っている
- ▧ 無回答

② 普段の活動に加え健康のため意識的に身体活動・運動を行っていますか。(〇は1つ)

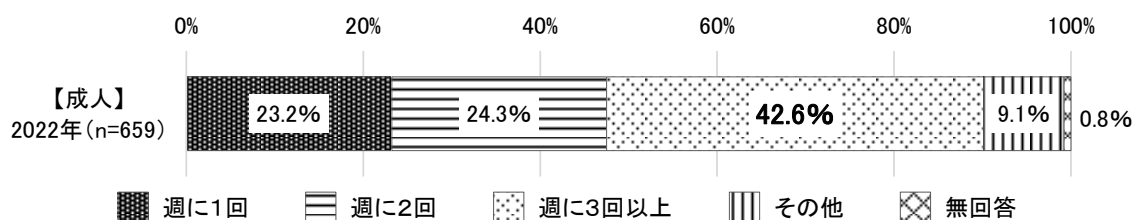
「行っていない」の割合が49.8%となっています。



- 行っている
- ▨ 行っていない
- ▩ 無回答

③ 身体活動・運動を週にどのくらい行っていますか。(〇は1つ)

「週に3回以上」の割合が42.6%と最も高くなっています。



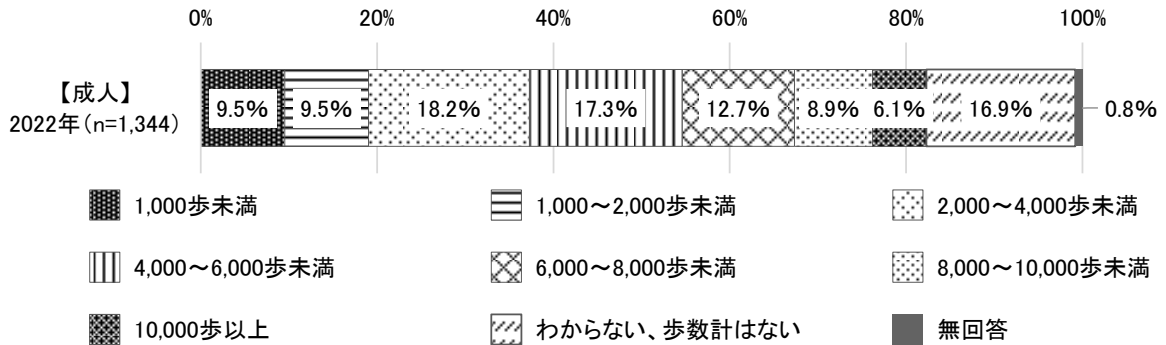
- 週に1回
- ▨ 週に2回
- ▩ 週に3回以上
- ▧ その他
- ▧ 無回答

II 調査結果

1 日常生活について（身体活動・運動）

④ 平均しておおむね、1日どれくらい歩きますか。（〇は1つ）

「2,000～4,000 歩未満」の割合が最も高く 18.2%で、次いで「4,000～6,000 歩未満」が 17.3%となっています。



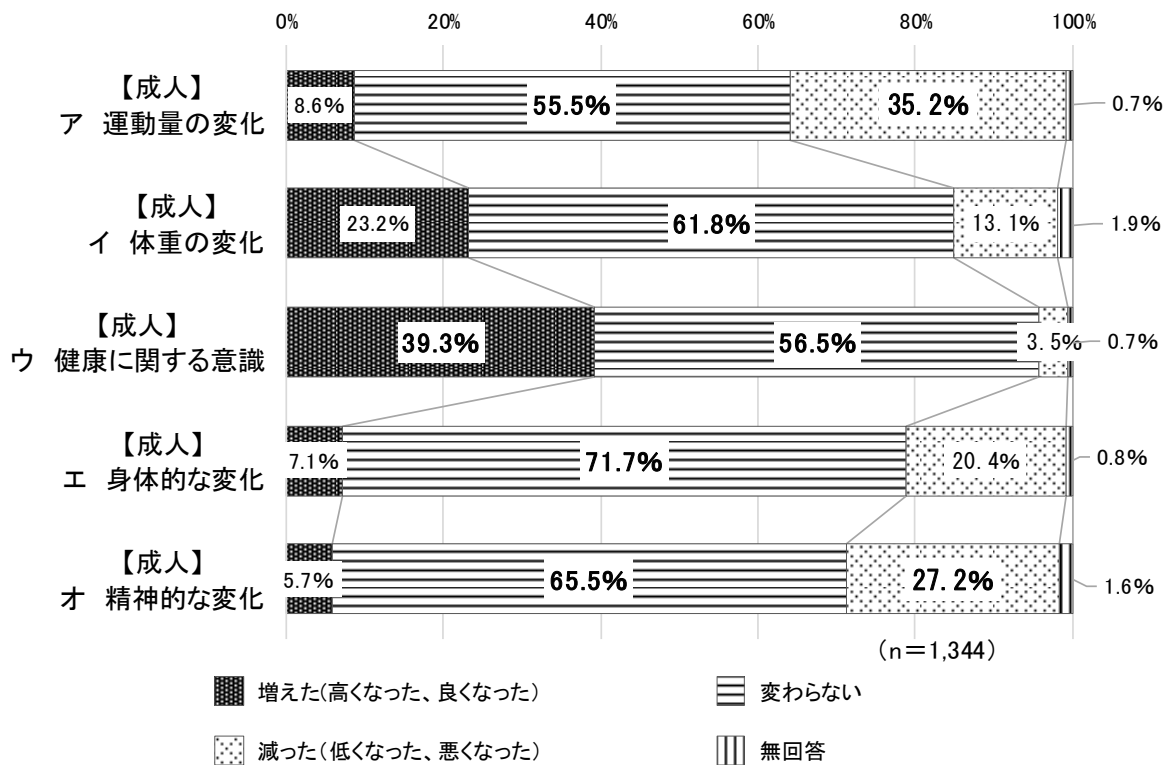
(2) コロナ禍の変化（身体、精神状況）

① コロナ禍の始まる前と後では、あなたの生活や、身体、精神状況はどう変化しましたか。（ア～オのそれぞれについて、あてはまるもの1つに〇）

すべての項目で、「変わらない」の割合が最も高くなっています。

個別の項目でみると、「良い」方の変化の割合が最も高いのは、「健康に関する意識」で「増えた（高くなった、良くなった）」が 39.3%となっています。

一方、「悪い」方の変化の割合が最も高いのは、「運動量の変化」で、「減った（低くなった、悪くなった）」が 35.2%となっています。また、「精神的な変化」では「悪くなった」の割合は 27.2%となっています。

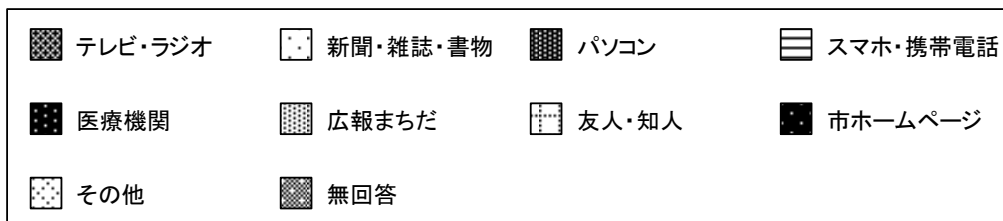
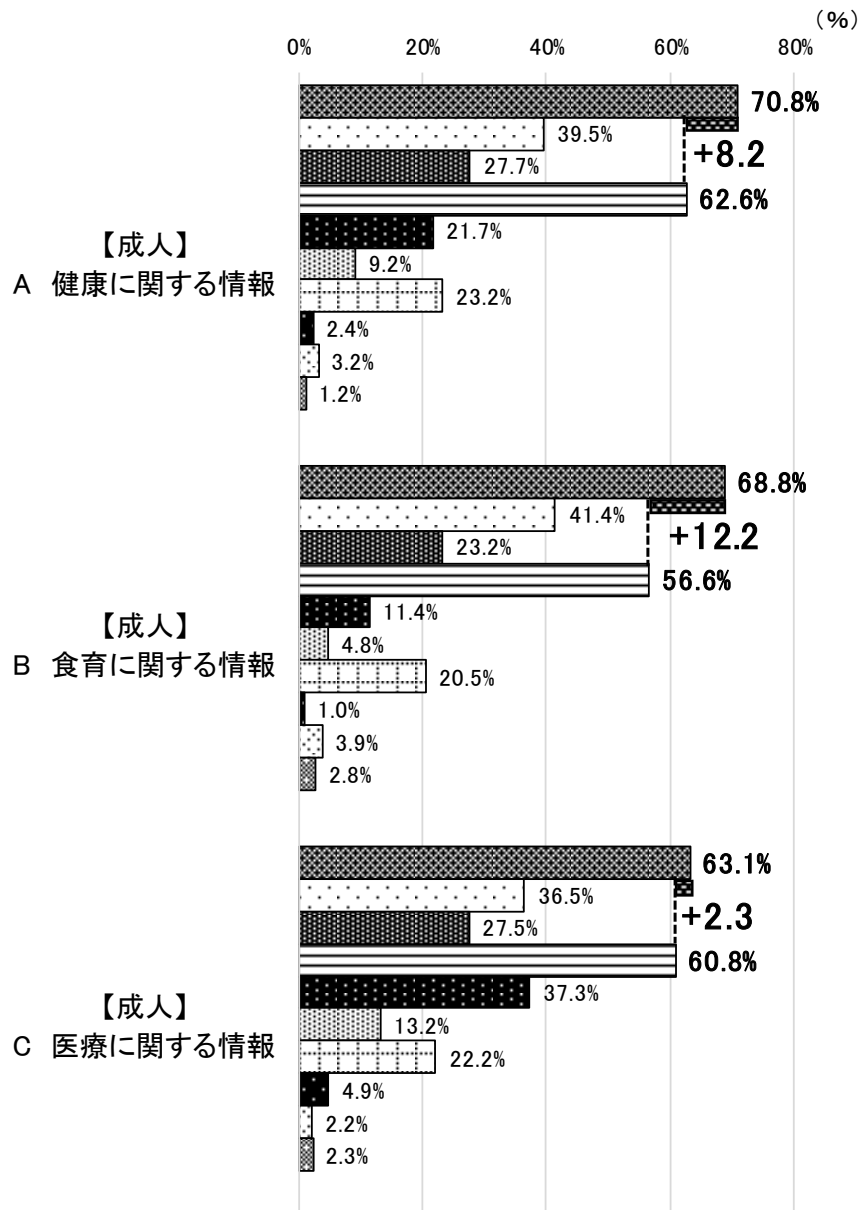


2 健康情報について

① 健康に関する情報について主にどこから入手していますか。

すべての項目で、「テレビ・ラジオ」の割合が最も高くなっています。

「スマホ・携帯電話」の割合がいずれも1位と2.3～12.2ポイントの差で高くなっています。

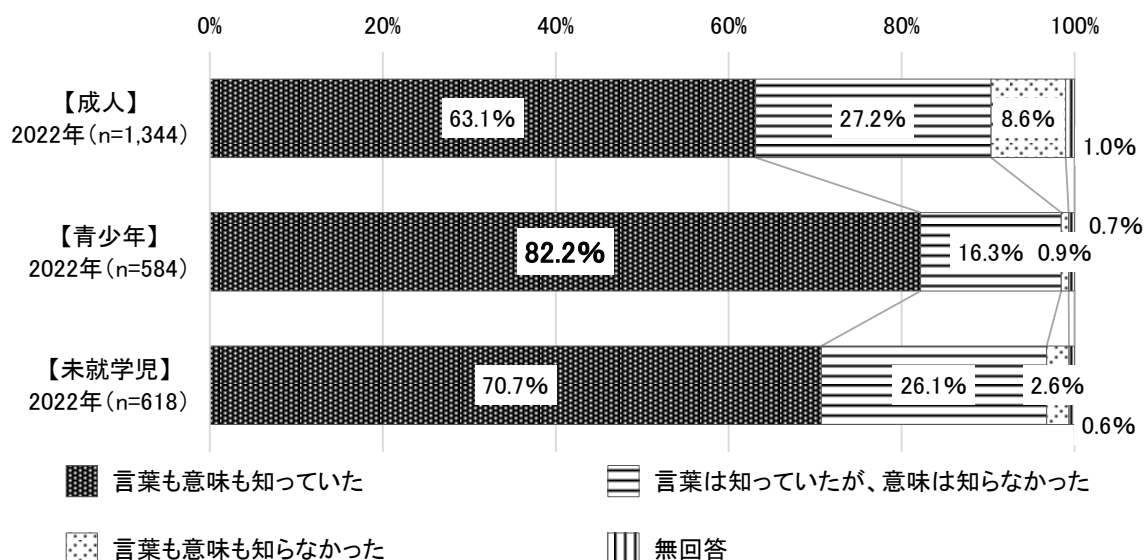


3 食生活について

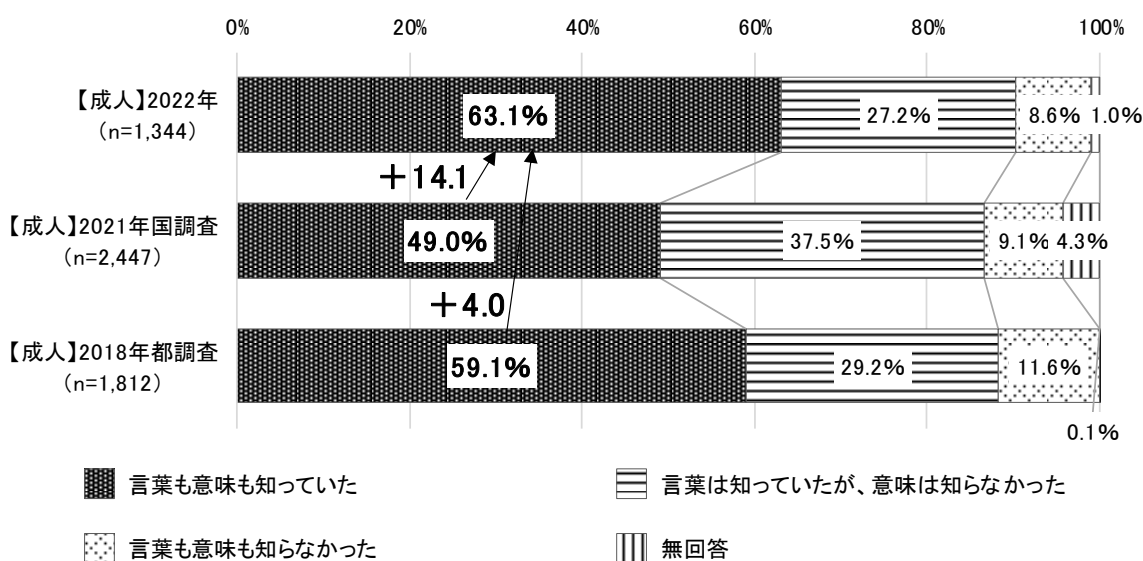
(1) 「食育」について

① 「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

いずれも「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高く、特に青少年保護者では82.2%となっています。

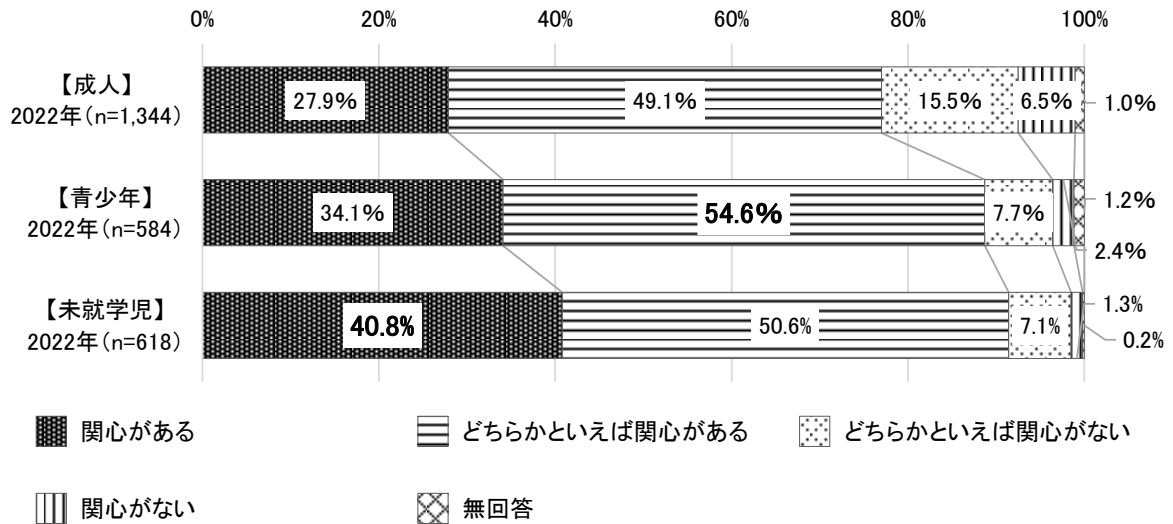


この割合を、国「食育に関する意識調査」(2021年)の49.0%と比較すると14.1ポイント、都「食生活と食育に関する世論調査」(2018年)の59.1%と比較すると4.0ポイント高く、市民の認知度が国・都の平均より高くなっています。



② 「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

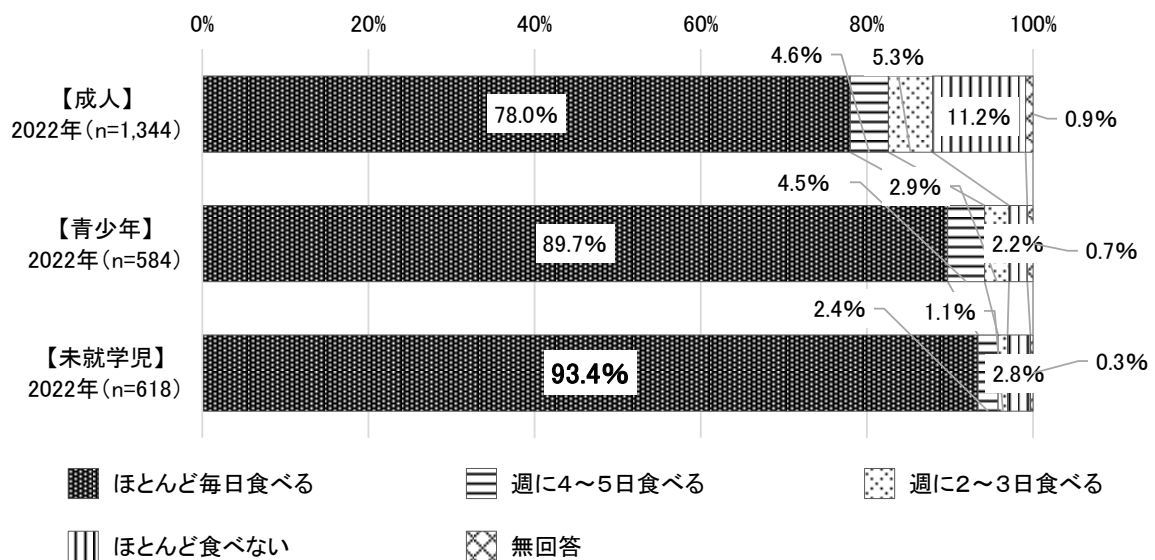
いずれも「どちらかといえば関心がある」の割合が最も高く、特に青少年保護者では 54.6%となっています。「関心がある」は未就学児保護者で 40.8%と最も多くなっています。



(2) 朝食について

① 普段朝食を食べますか。(〇は1つ)

いずれも「ほとんど毎日食べる」の割合が最も高く、特に未就学児では 93.4%となっています。

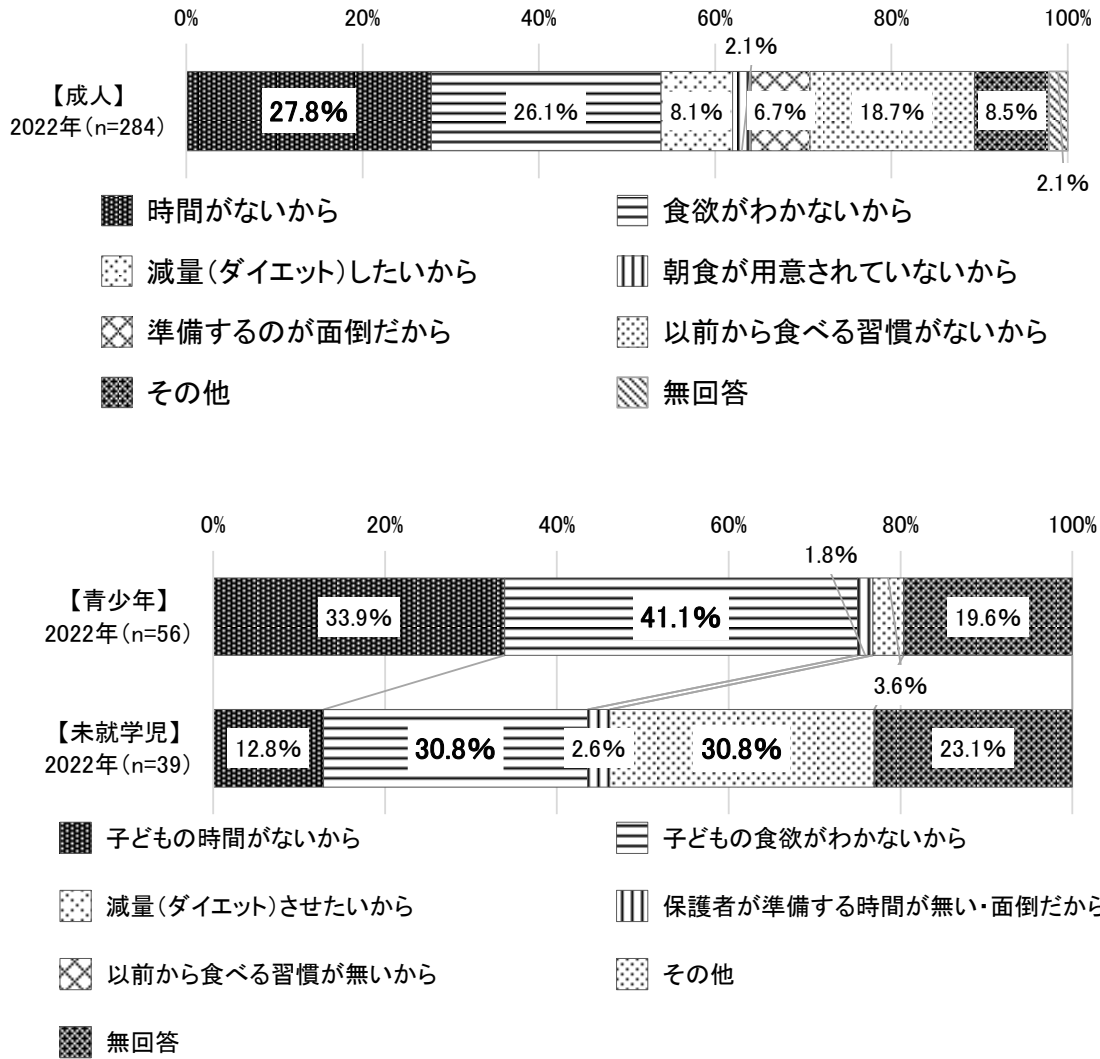


(2-1) 朝食を食べない理由

① 【(2)で「2週に4～5日食べる」「3週に2～3日食べる」「4 ほとんど食べない」と回答した方にお伺いします。】

朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

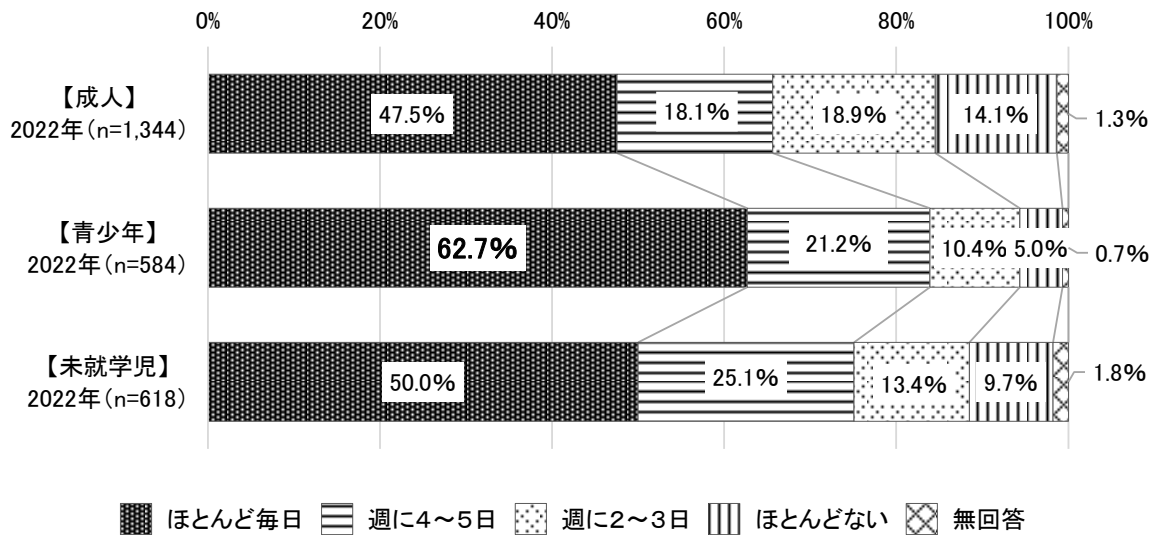
成人では、「時間がないから」、青少年、未就学児では「子どもの食欲がわからないから」の割合が最も高くなっています。なお、未就学児では「その他」も同率で高くなっています。



(3) 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度

① 普段の食事で主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つ)

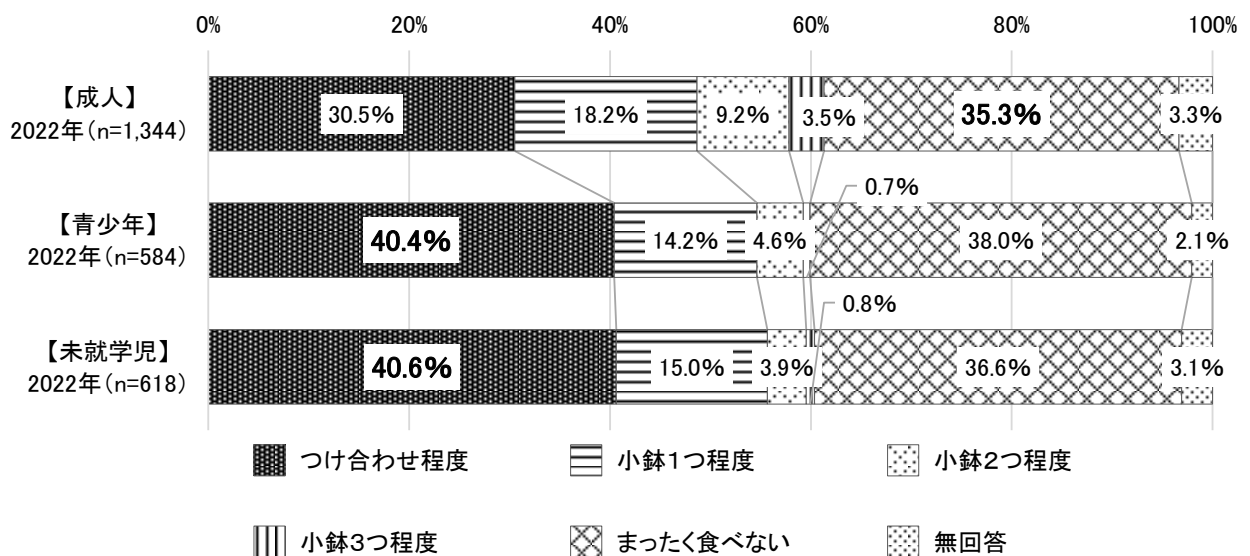
いずれも「ほとんど毎日」の割合が最も高く、特に青少年では62.7%となっています。



(4) 野菜の摂取量

① 普段の食事で野菜料理をどれくらい食べていますか。(朝食)

成人では「まったく食べない」、青少年、未就学児では「つけ合わせ程度」の割合が最も高くなっています。

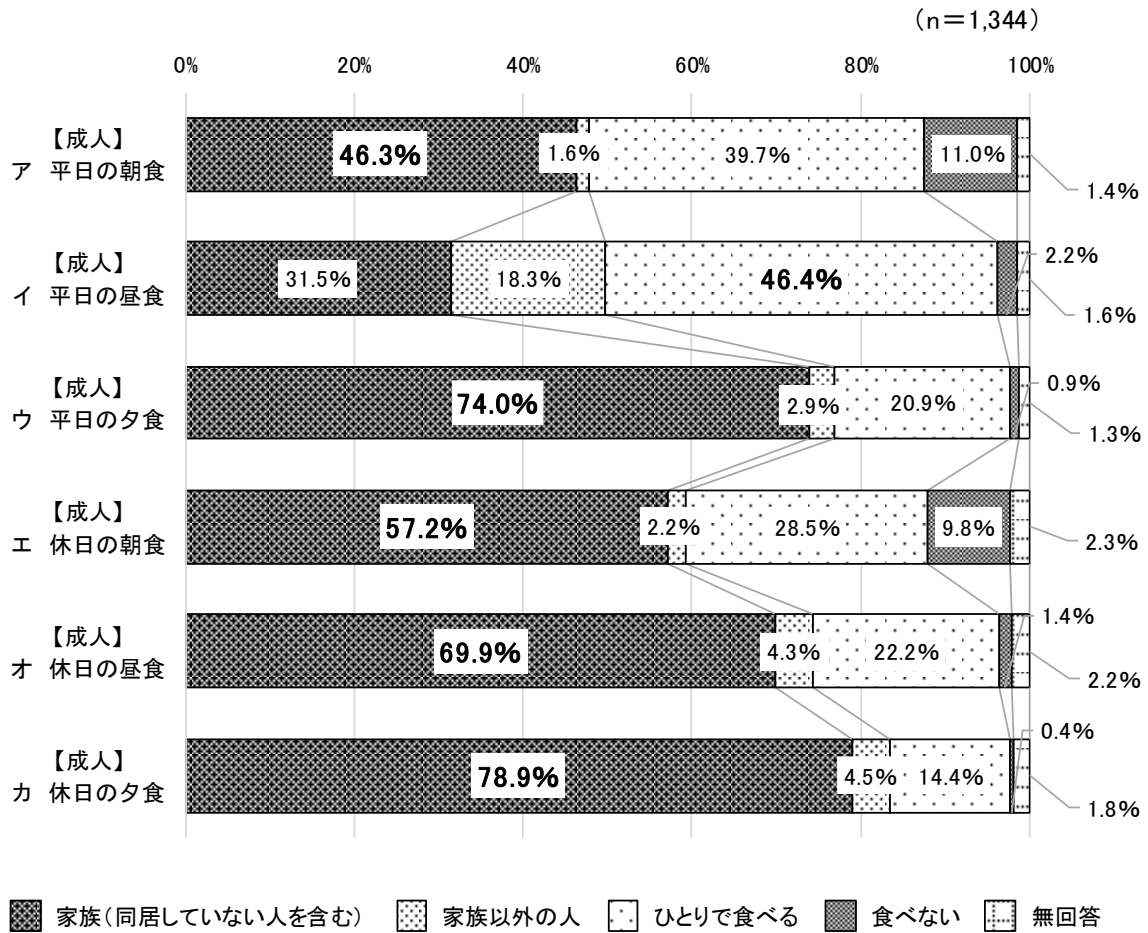


(5) 食事をする相手

① 普段誰と食事をすることが多いですか。(ア～カのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

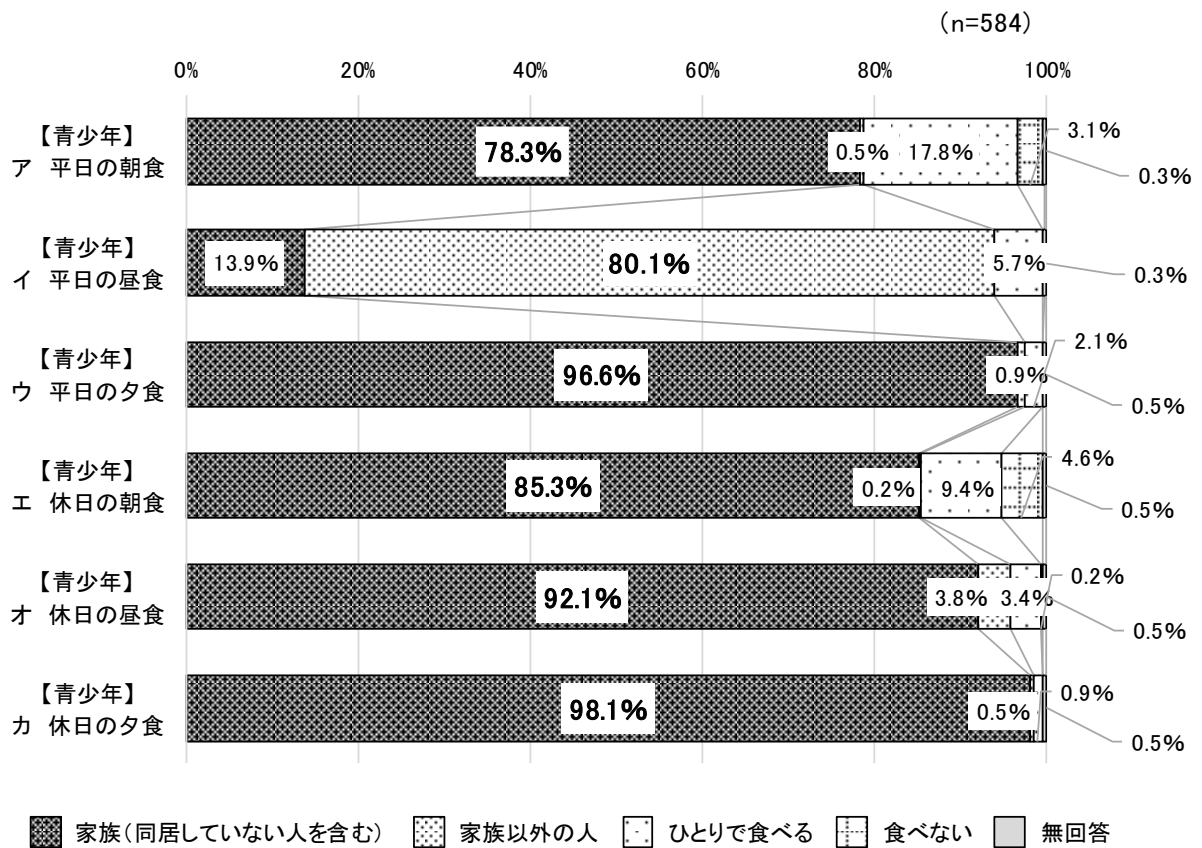
【成人】

「家族(同居していない人を含む)」の割合が、平日の昼食を除き最も高くなっています。平日の昼食では「ひとりで食べる」の割合が最も高くなっています。



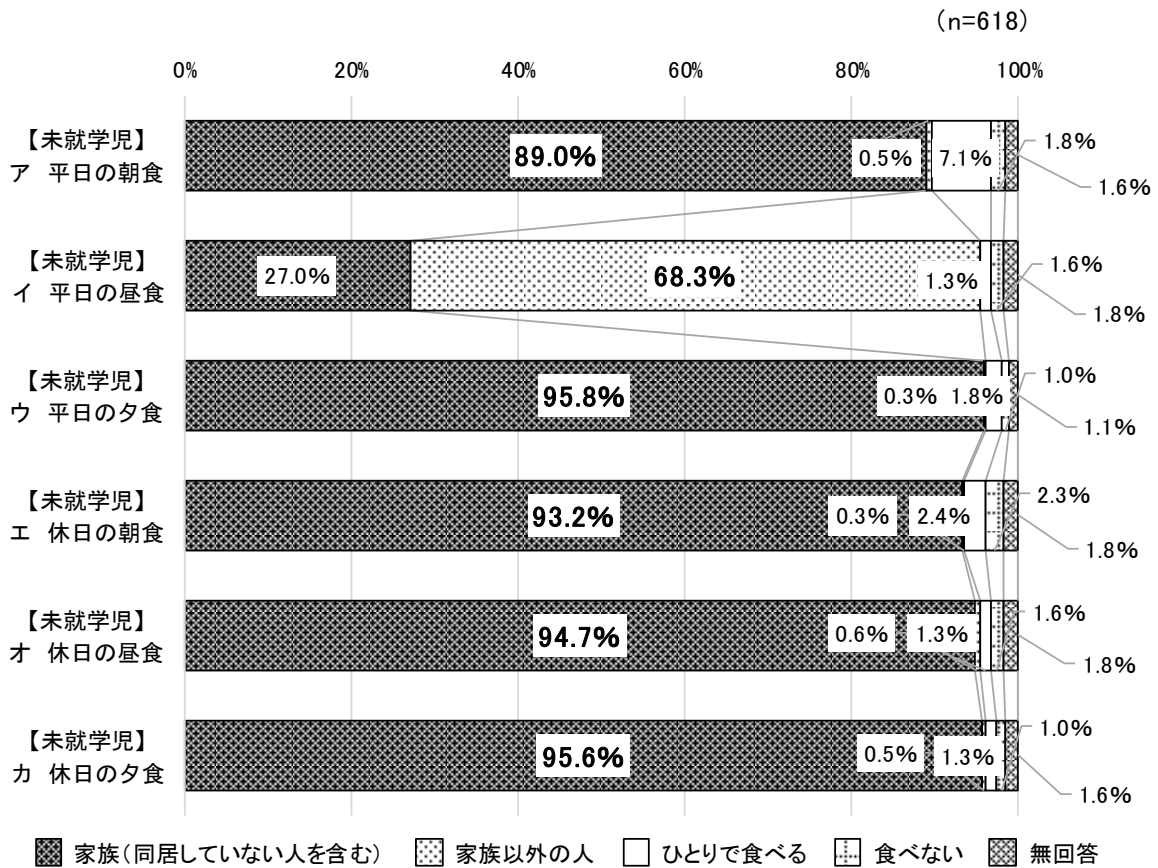
【青少年】

「平日の昼食」を除き、「家族（同居していない人を含む）」の割合が最も高くなっています。



【未就学児】

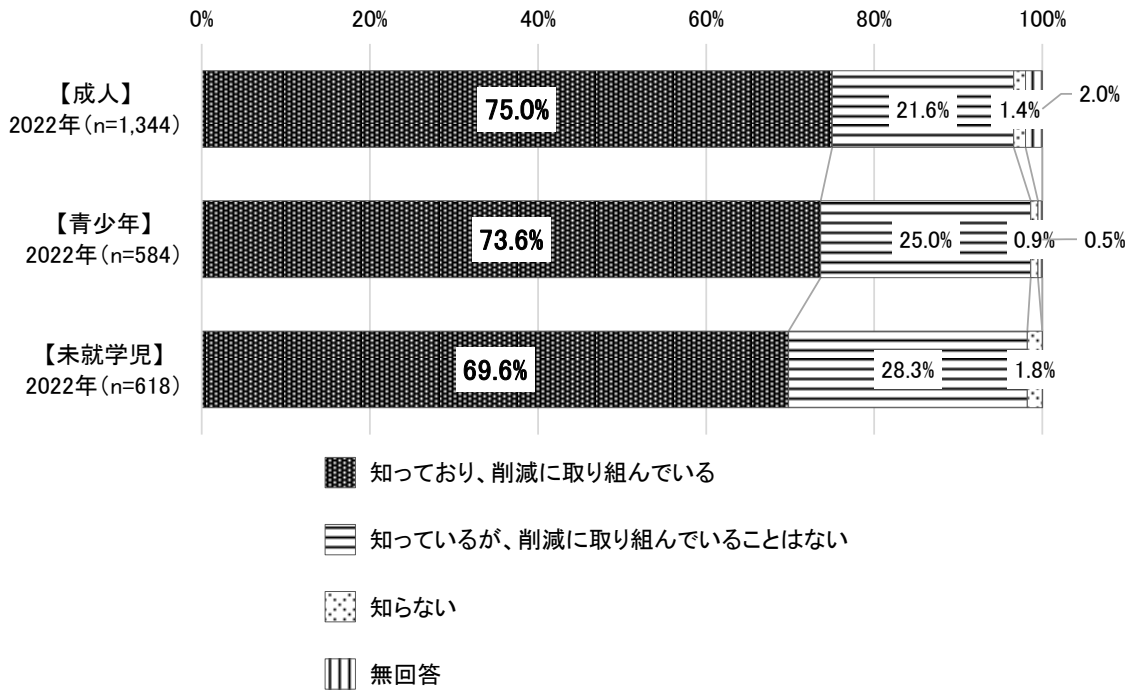
平日の昼食は「家族以外の人」、それ以外の食事は「家族（同居していない人を含む）」の割合が最も高くなっています。



(6) 「食品ロス」の認知状況

① 「食品ロス」という問題を知っていますか。(〇は1つ)

「知っており、削減に取り組んでいる」が最も高くなっています。

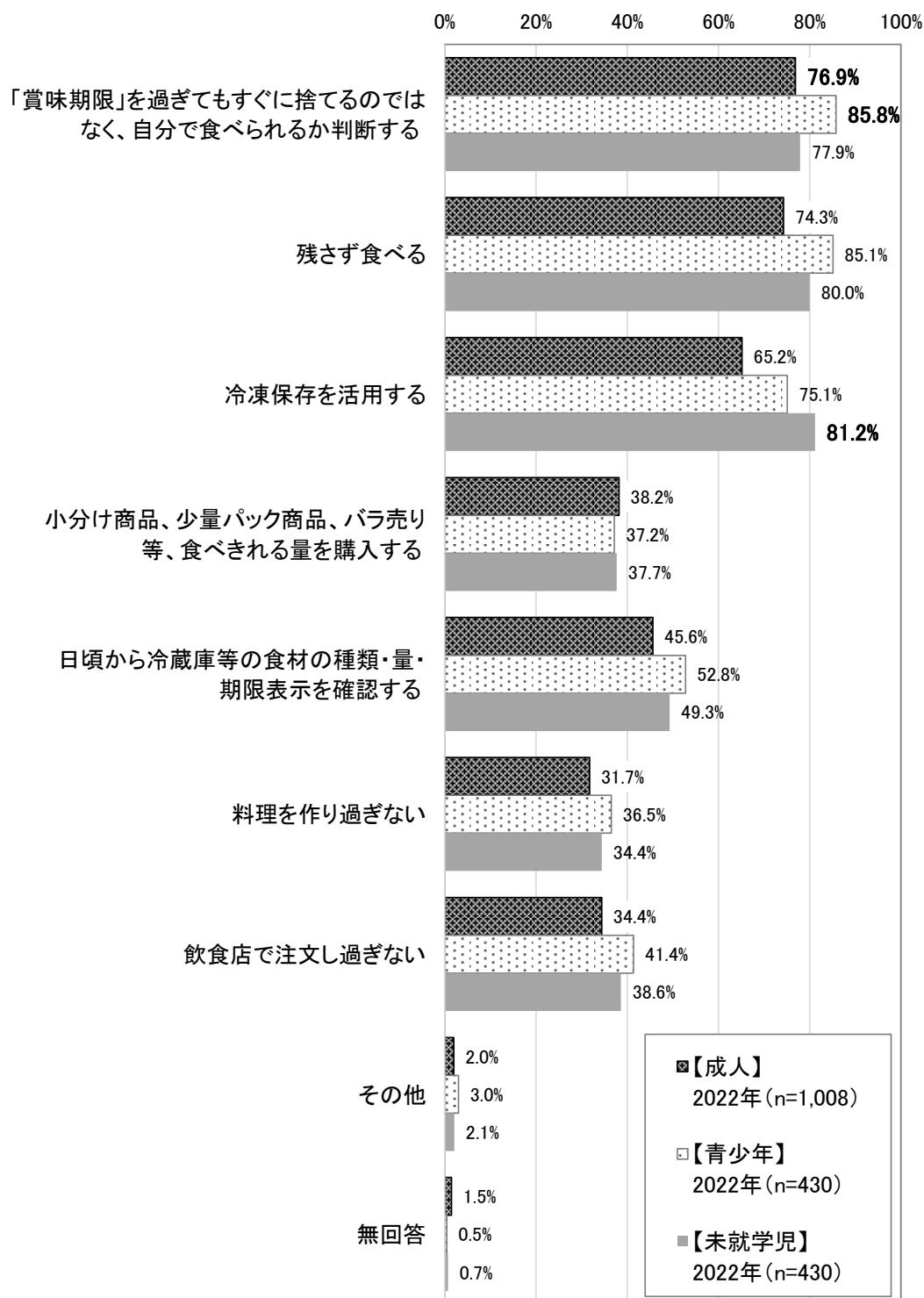


(6-1)「食品ロス」を削減するために取り組んでいること

① 【(6)で「1 知っており、削減に取り組んでいる」と回答した方にお伺いします。】

「食品ロス」を削減するために取り組んでいることはなんですか。(〇はいくつでも)

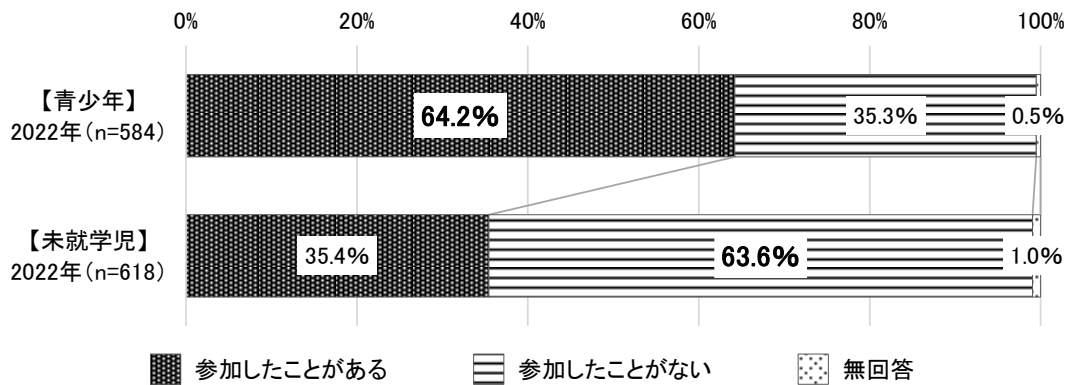
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」の割合が76.9%と最も高くなっています。



(7) 「あて名のお子さん」の農林漁業体験の有無

① 「あて名のお子さん」は、これまで、田植えや稲刈り、農作物の収穫をするなど、農林漁業体験に参加したことがありますか。(〇は1つ)

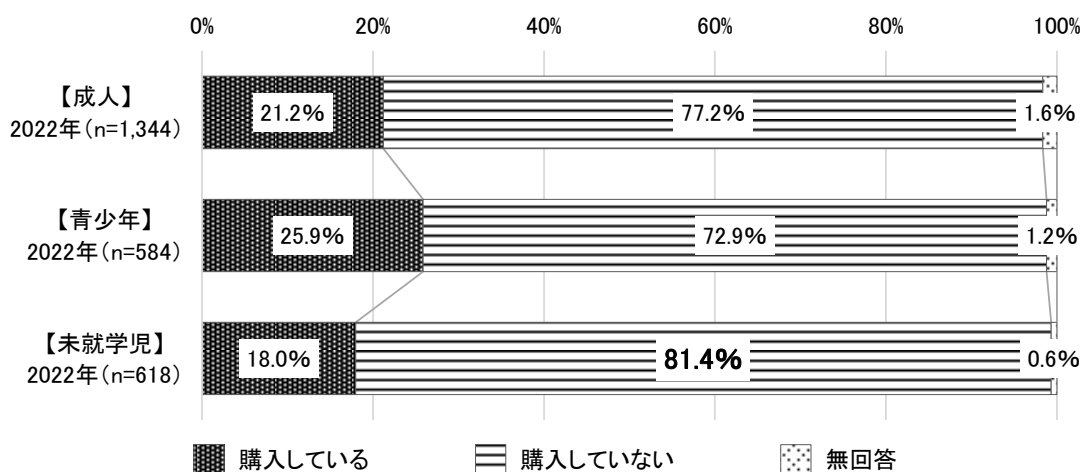
青少年では「参加したことがある」、未就学児では「参加したことがない」の割合が高くなっています。



(8) 町田産農作物について

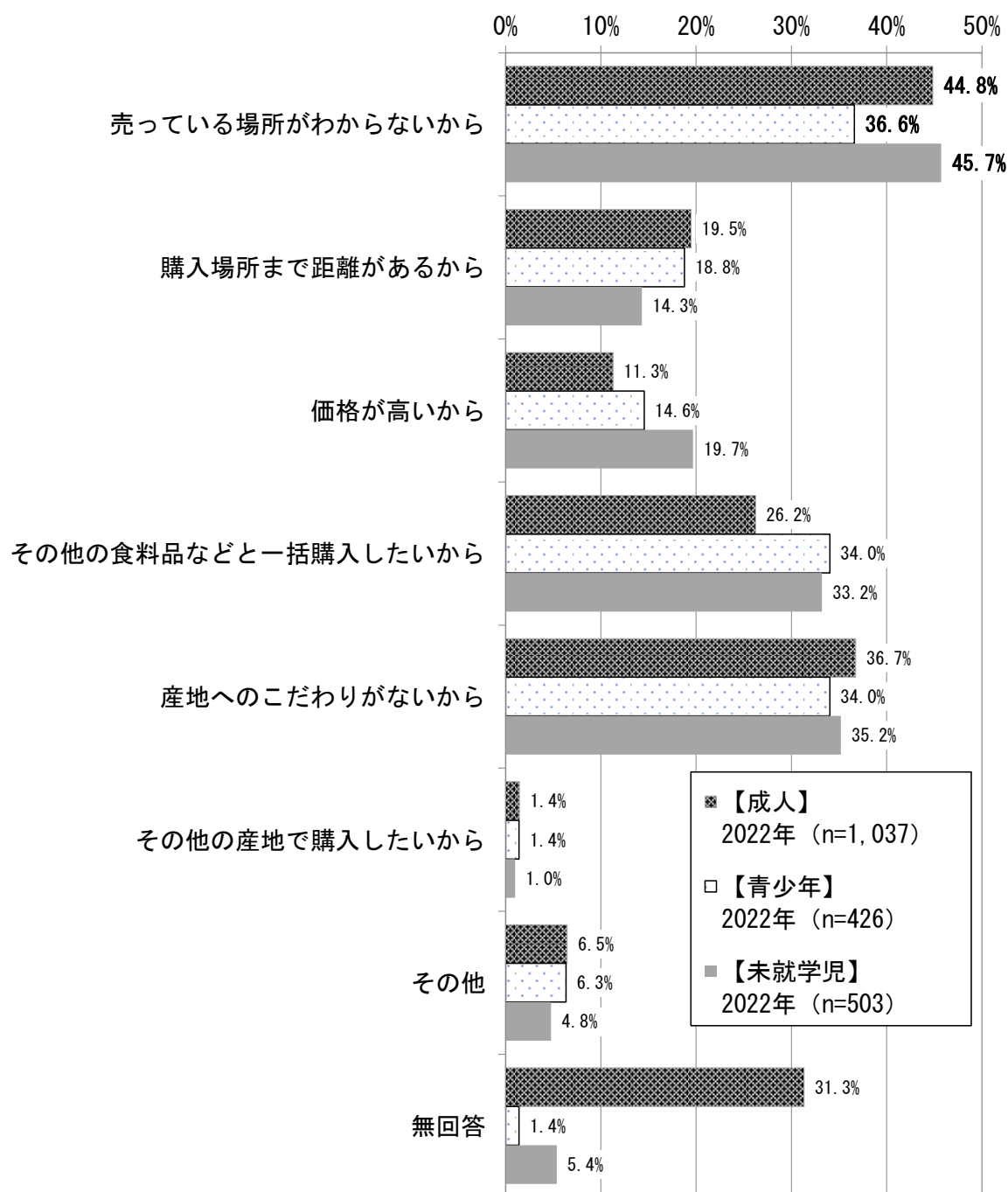
① 「町田産農作物(野菜・たまご・乳製品など)」を意識して購入していますか。
(〇は1つ)

いずれも「購入していない」の割合が高く、特に未就学児保護者では81.4%となっています。



② 【①で「2 購入していない」と回答した方にお伺いします。】
購入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

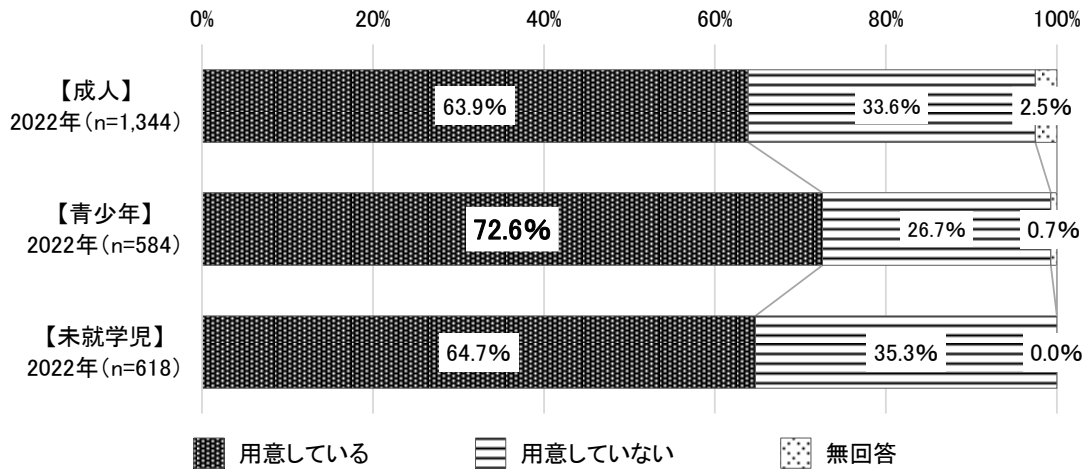
いずれも「売っている場所がわからないから」の割合が最も高く、特に未就学児保護者では 45.7% となっています。



(9) 災害に備えた食料や物品の用意

① 災害時に備えて食料や物品などの用意をしていますか。(〇は1つ)

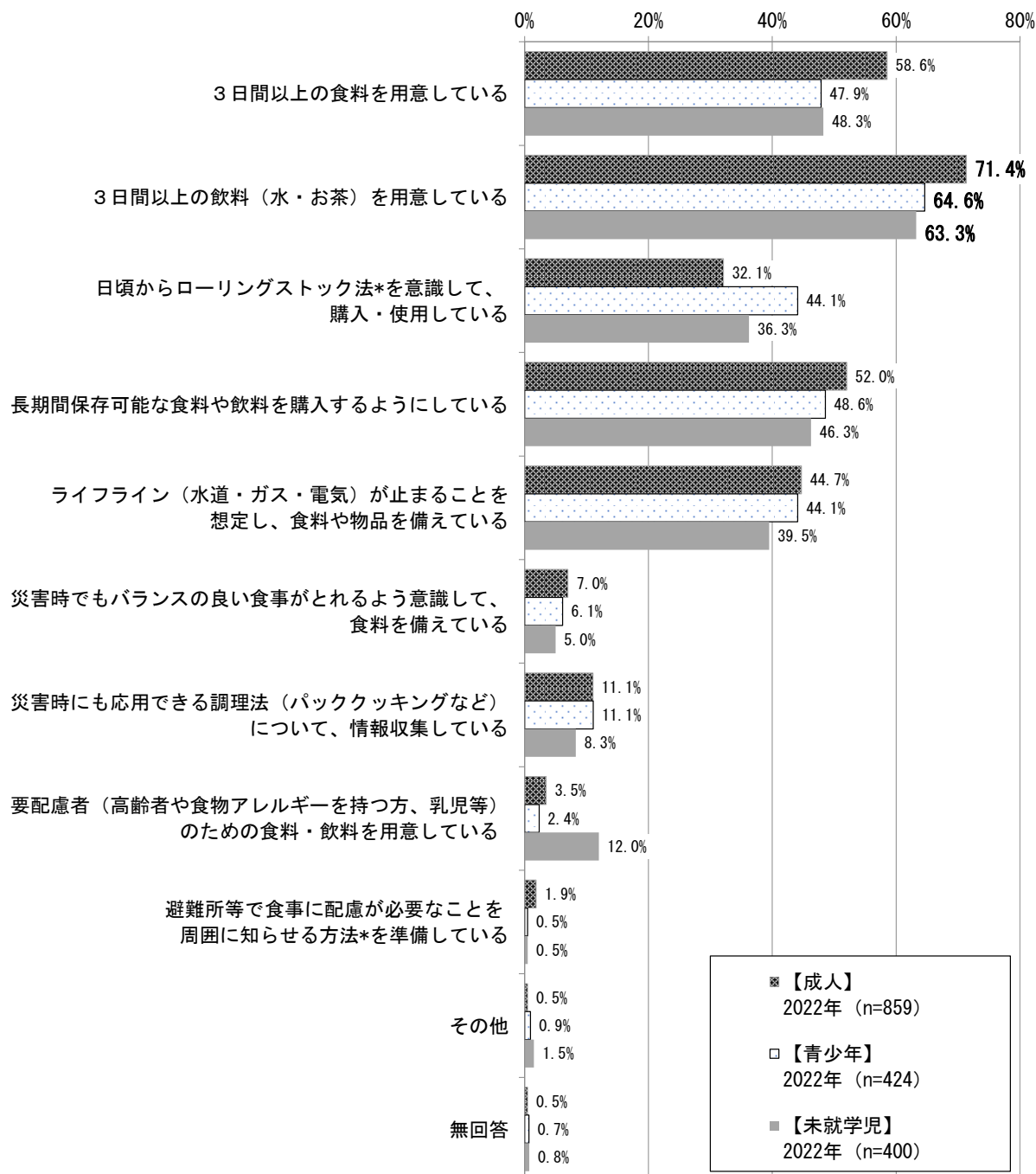
いずれも「用意している」の割合が高く、特に青少年保護者では72.6%となっています。



② 【①で「1 用意している」と回答した方にお伺いします。】

災害時の食事のためにどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

いずれも「3日間以上の飲料(水・お茶)を用意している」の割合が最も高く、特に成人では71.4%となっています。



*ローリングストック法とは

少し多めに食材や加工品を購入しておき、使用した分だけ買い足すことです。

*避難所等で食事に配慮が必要なことを周囲に知らせる方法とは

避難所等で支援が必要な事を周囲に示せるよう、「〇〇アレルギーあり」など服に貼れるシールや筆記具の準備をしておくことなどです。

主なその他の回答

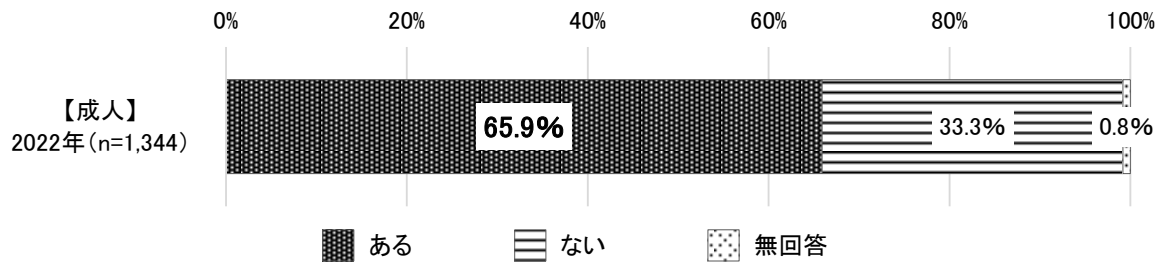
- ・ガスボンベを準備
- ・防災訓練をしている

4 こころの健康・休養について

(1) 悩みやストレス

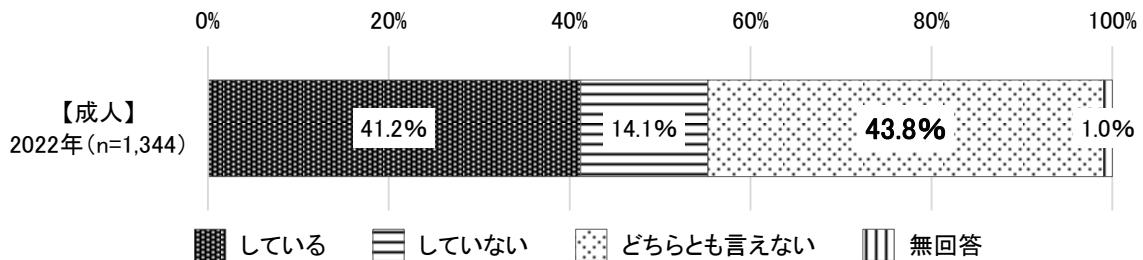
① 現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が65.9%となっています。



② ストレスを上手に解消していますか。(〇は1つ)

「どちらとも言えない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「している」が41.2%と高くなっています。

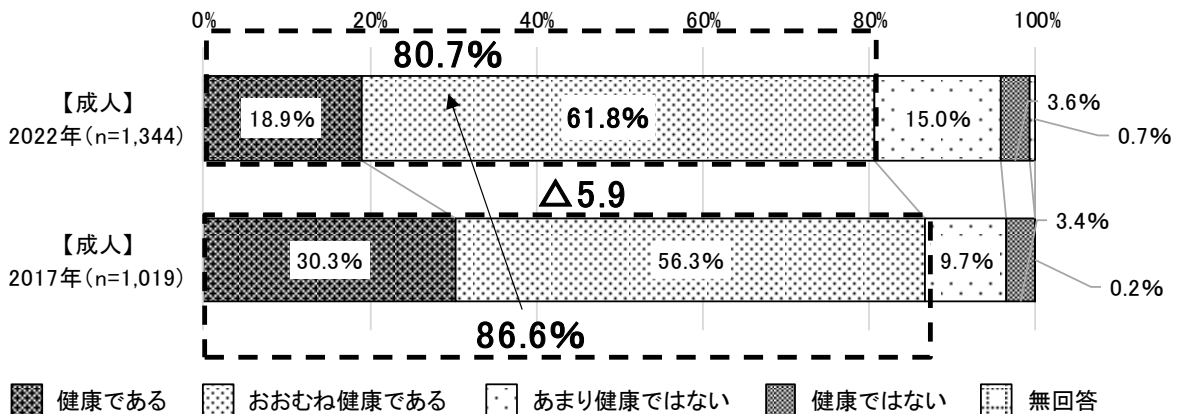


(2) 健康状態

① からだの健康状態について、どう思いますか。

「おおむね健康である」の割合が**61.8%**と最も高くなっています。

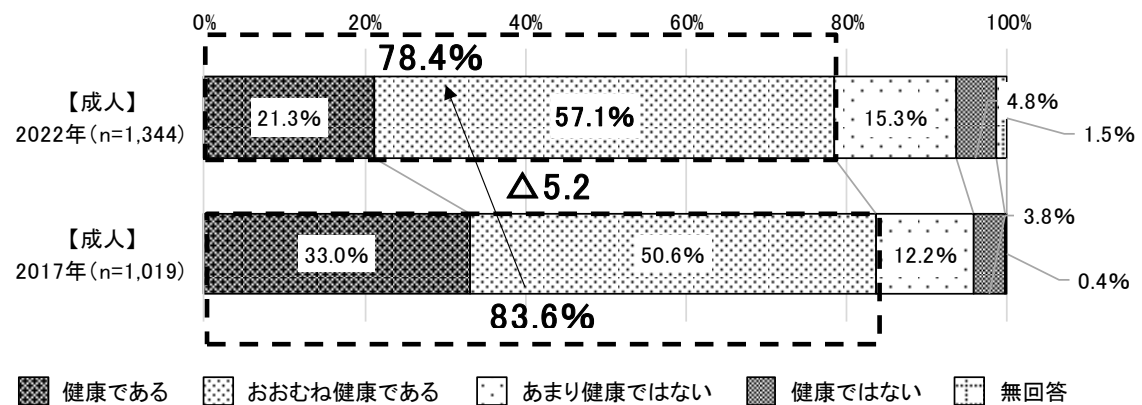
この結果を、町田市こころの健康調査（2017年実施）と比較すると、「健康である」と「おおむね健康である」を合わせた割合が86.6%から80.7%に5.9ポイント減少しています。



② こころの健康状態について、どう思いますか。

「おおむね健康である」の割合が**57.1%**と最も高くなっています。

この結果を、町田市こころの健康調査（2017年実施）と比較すると、「健康である」と「おおむね健康である」を合わせた割合が83.6%から78.4%に5.2ポイント減少しています。

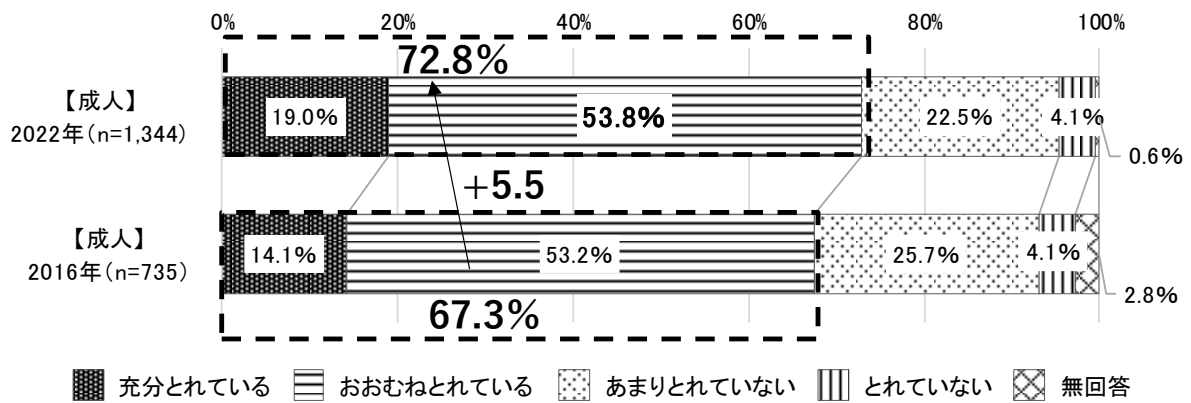


(3) 休養

① 睡眠で休養が充分とれていると思いますか。(〇は1つ)

「おおむねとれている」の割合が**53.8%**と最も高くなっています。

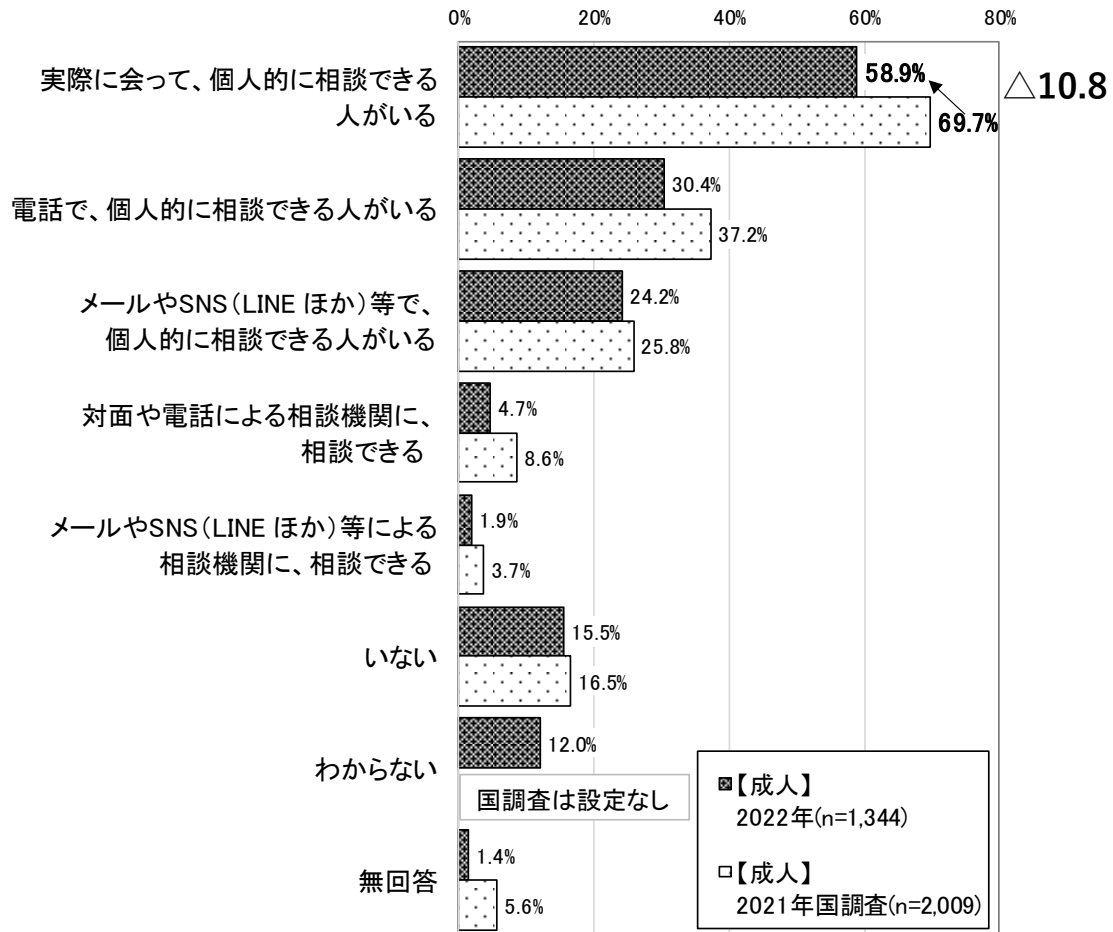
この結果を、2016年調査と比較すると、「充分とれている」と「おおむねとれている」を合わせた割合が67.3%から72.8%に5.5ポイント増加しています。



(4) 相談できる相手の有無

① 不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。
(○はい/△はい/□はい/○はい/△はい/□はい/○はい/△はい/□はい)

「実際に会って、個人的に相談できる人がいる」の割合が58.9%と最も高くなっています。
この結果を、国「自殺対策に関する意識調査」(2021年)と比較すると、「実際に会って、個人的に相談できる人がいる」の割合が10.8ポイント低くなっています。



(5) 相談することに対するためらい

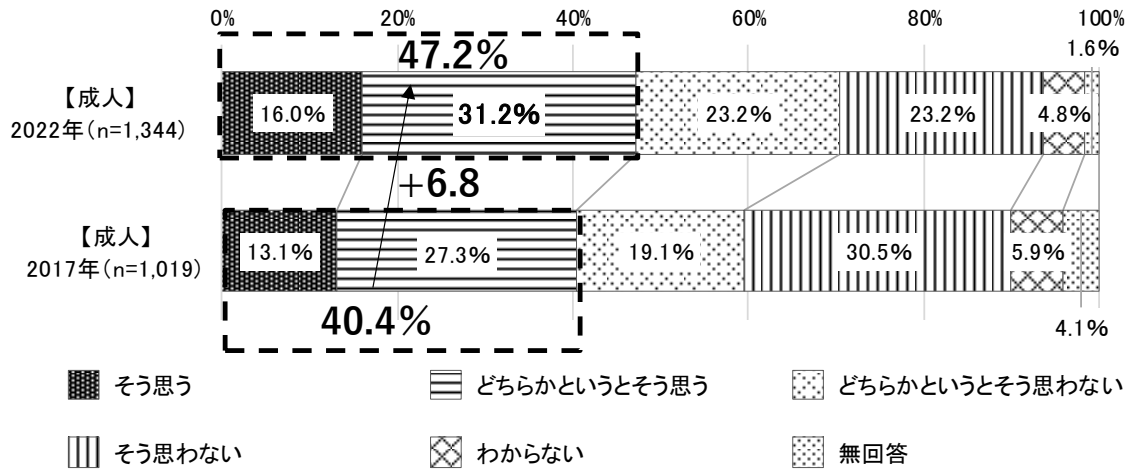
① 誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。

(○は1つ)

「どちらかというと思う」の割合が31.2%と最も高くなっています。

なお、「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合を合わせると47.2%となっています。

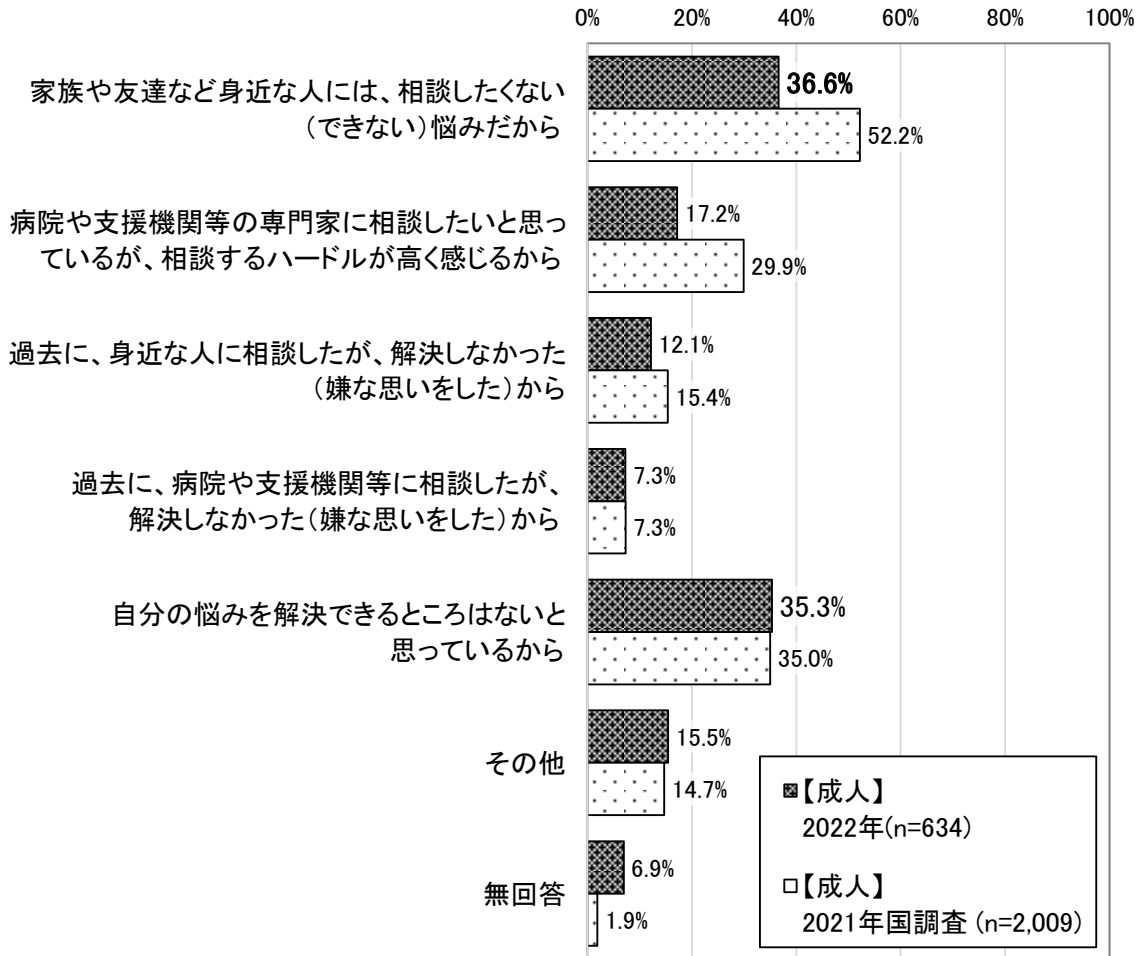
この結果を、町田市こころの健康調査(2017年実施)と比較すると、「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合は合わせて40.4%であり、6.8ポイント増加しています



② 【①で「1 そう思う」「2 どちらかというと思う」と回答した方にお伺いします。】

誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じると思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

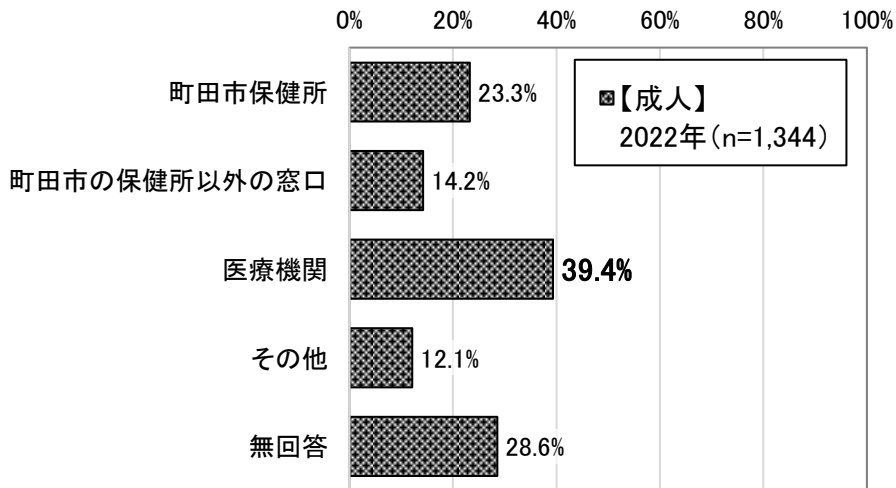
「家族や友達など身近な人には、相談したくない(できない) 悩みだから」の割合が **36.6%**と最も高く、次いで「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」が 35.3%となっています。



(6) こころの相談の相談先の認知状況

① こころの相談をする時の相談先を知っていますか。知っている機関に○をしてください。(○はいくつでも)

「医療機関」の割合が39.4%と最も高くなっています。



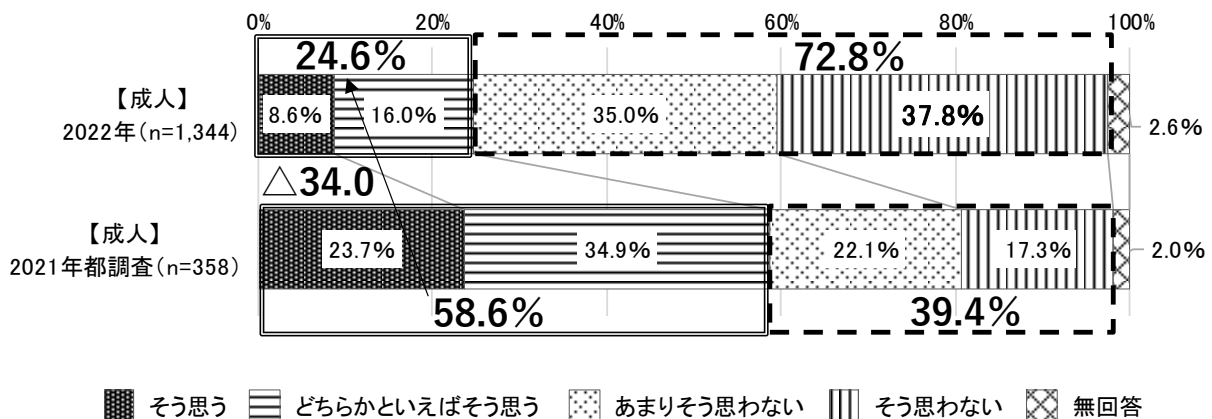
(7) 自殺対策

① 自殺対策は自分自身に関わる問題だと思いますか。(○は1つ)

「そう思わない」の割合が37.8%と最も高くなっています。

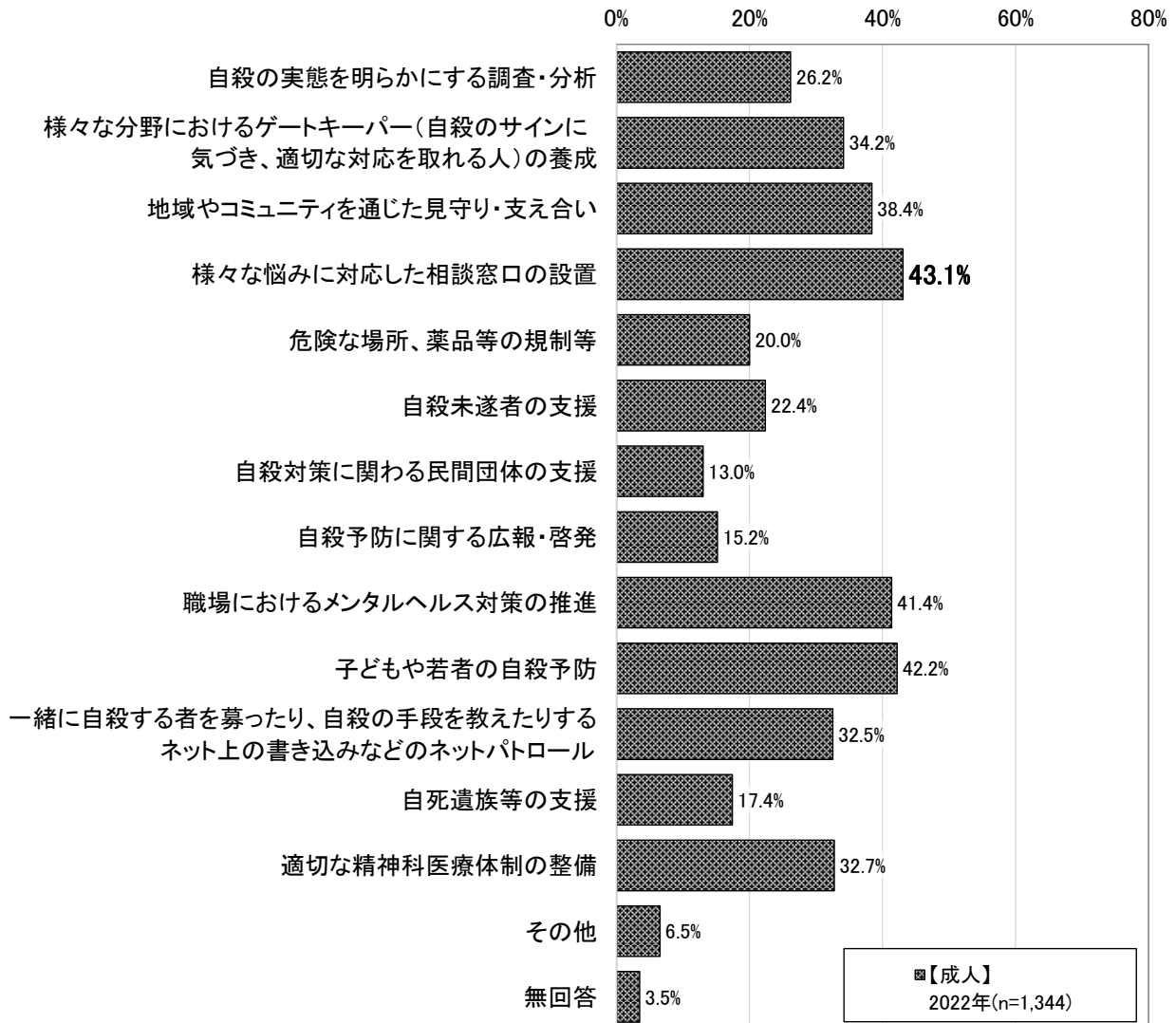
なお、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の割合は合わせて72.8%となっています。

また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は合わせて24.6%となっており、この結果を、都「インターネット福祉保健モニター調査」(2021年)の58.6%と比較すると、34.0ポイント低くなっています。



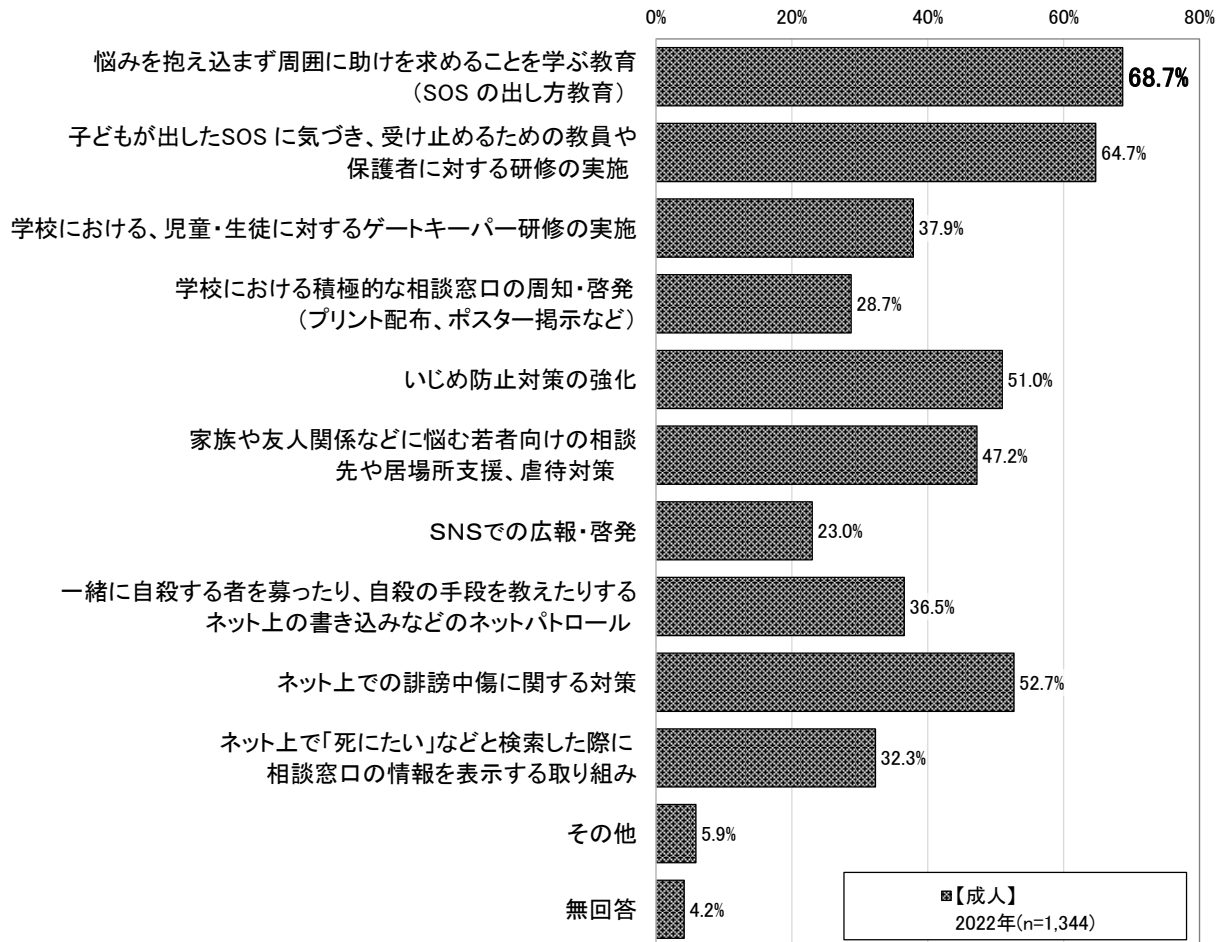
② 今後求められるものとして、どのような自殺対策が有効であると思いますか。(〇はいくつでも)

「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」の割合が43.1%と最も高く、次いで「子どもや若者の自殺予防」、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」の順となっています。



③ 今後求められるものとして、どのような子ども・若者向けの自殺対策が有効であると思いますか。
(〇はいくつでも)

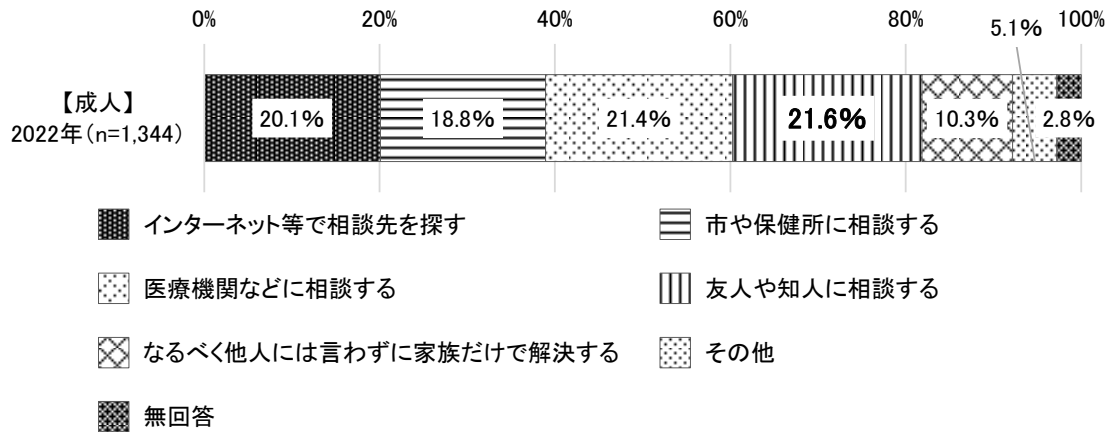
「悩みを抱え込まず周囲に助けを求めることを学ぶ教育（SOS の出し方教育）」の割合が68.7%と最も高くなっています。



(8) 家族がひきこもりに状態になった場合の対応

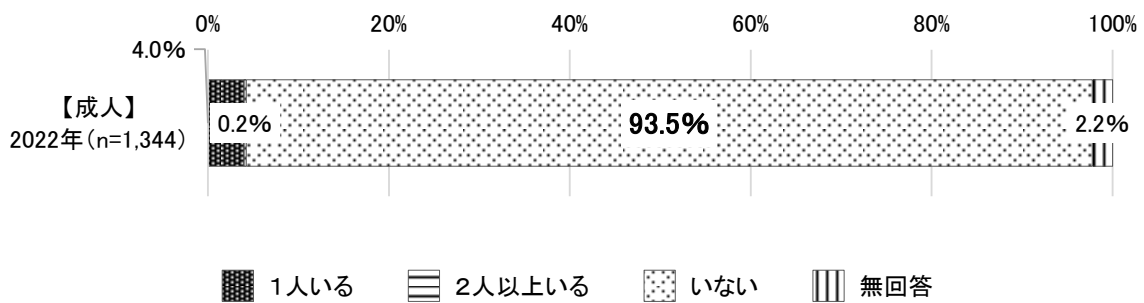
① 家族がひきこもり状態になった場合にどのような対応をとりますか。(〇は1つ)

「友人や知人に相談する」の割合が21.6%と最も高くなっています。



② 本人を含め同居家族にひきこもりの方はいますか。(〇は1つ)

「いない」の割合が93.5%となっています。



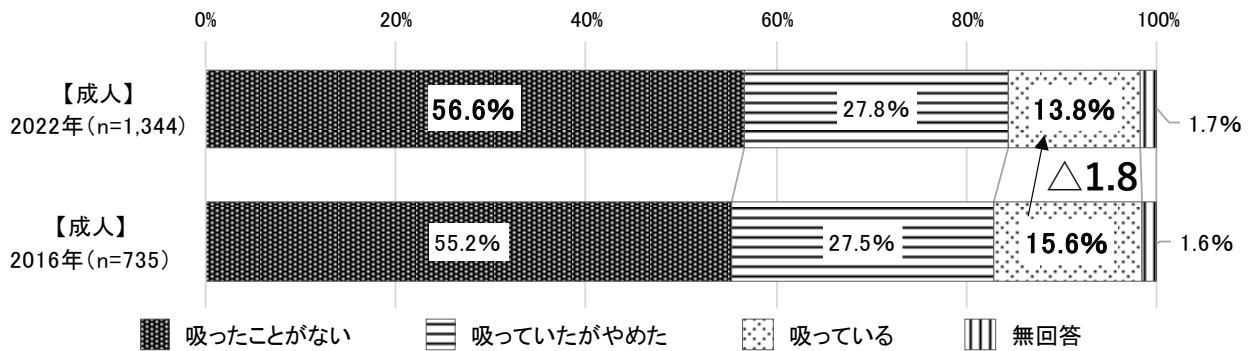
5 たばことアルコール飲料について

(1) 喫煙状況

① 普段たばこを吸いますか。(〇は1つ)

「吸ったことがない」の割合が56.6%と最も高くなっています。

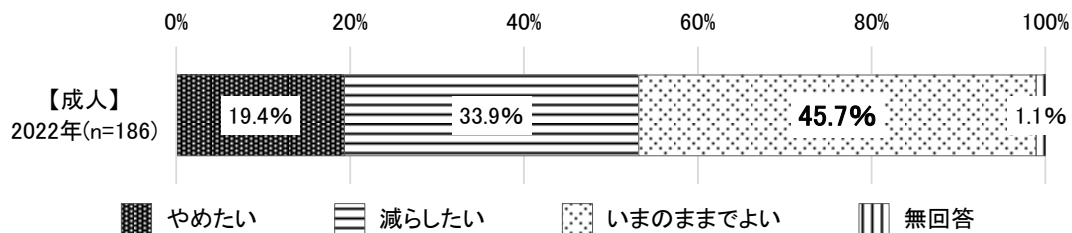
また、喫煙率は13.8%となっており、この結果を2016年調査と比較すると、喫煙率は15.6%から13.8%に1.8ポイント減少しています。



② 【①で「3 吸っている」と回答した方にお伺いします。】

今後、たばこをやめたい、減らしたいと思っていますか。(〇は1つ)

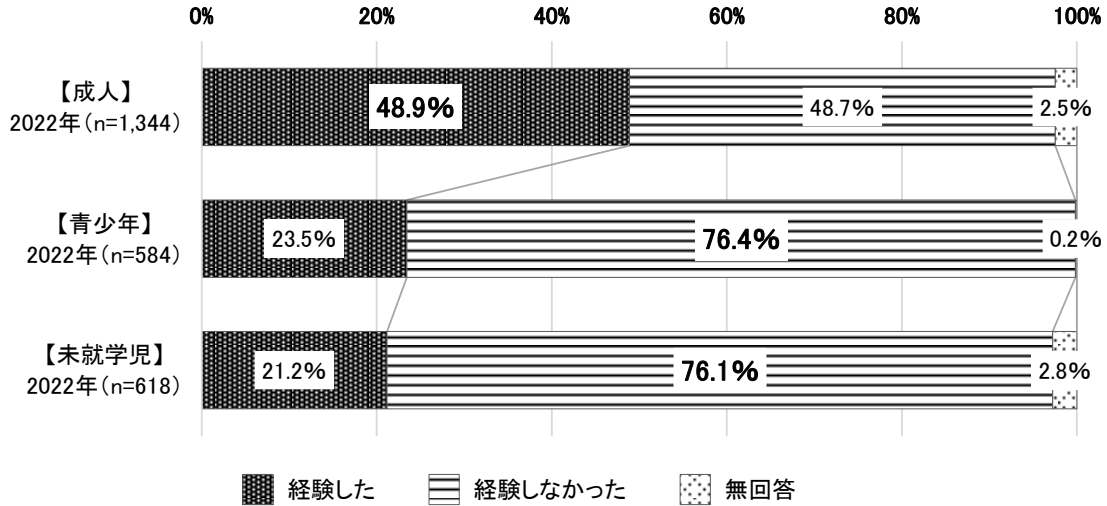
「いまのままでよい」の割合が45.7%と最も高くなっています。



(2) 受動喫煙の経験

① おおよそ1年の間に受動喫煙を経験しましたか。(〇は1つ)

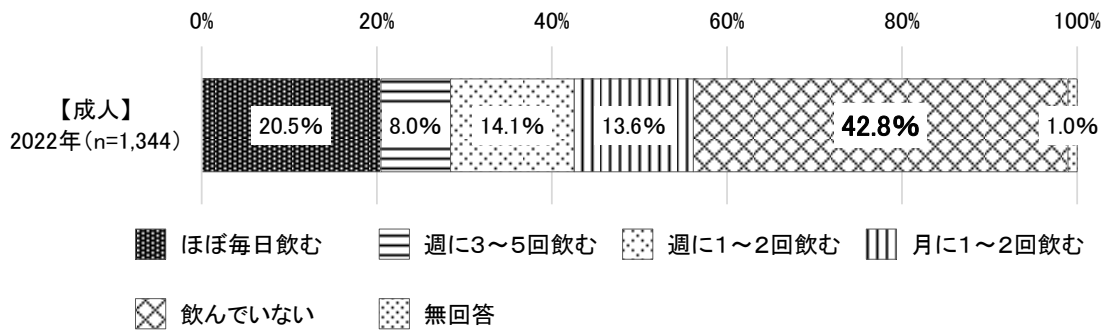
成人では「経験した」、青少年保護者、未就学児保護者では「経験しなかった」の割合が高くなっています。



(3) 飲酒状況

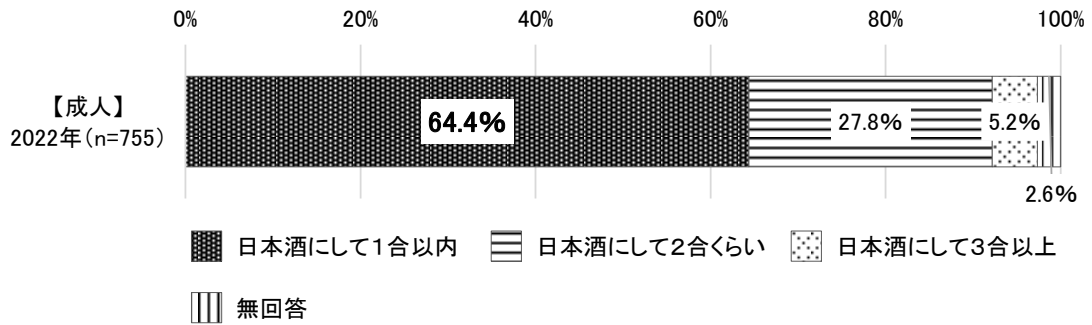
① アルコール飲料を飲みますか。(〇は1つ)

「飲んでいない」の割合が42.8%と最も高くなっています。



② 【①で「1～4」と回答した方にお伺いします。】
平均するとどのくらいの量を飲みますか。(〇は1つ)

「日本酒にして1合以内」の割合が64.4%と最も高くなっています。

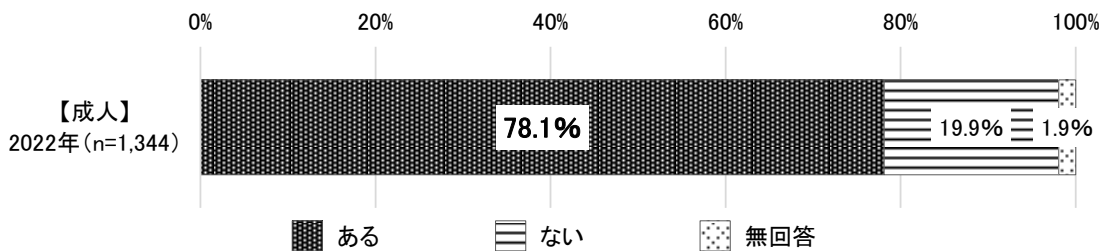


6 健康診査・検診について

(1) 健康診査・検診状況

① この1年間に、健康診査・検診を受けたことがありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が78.1%となっています。

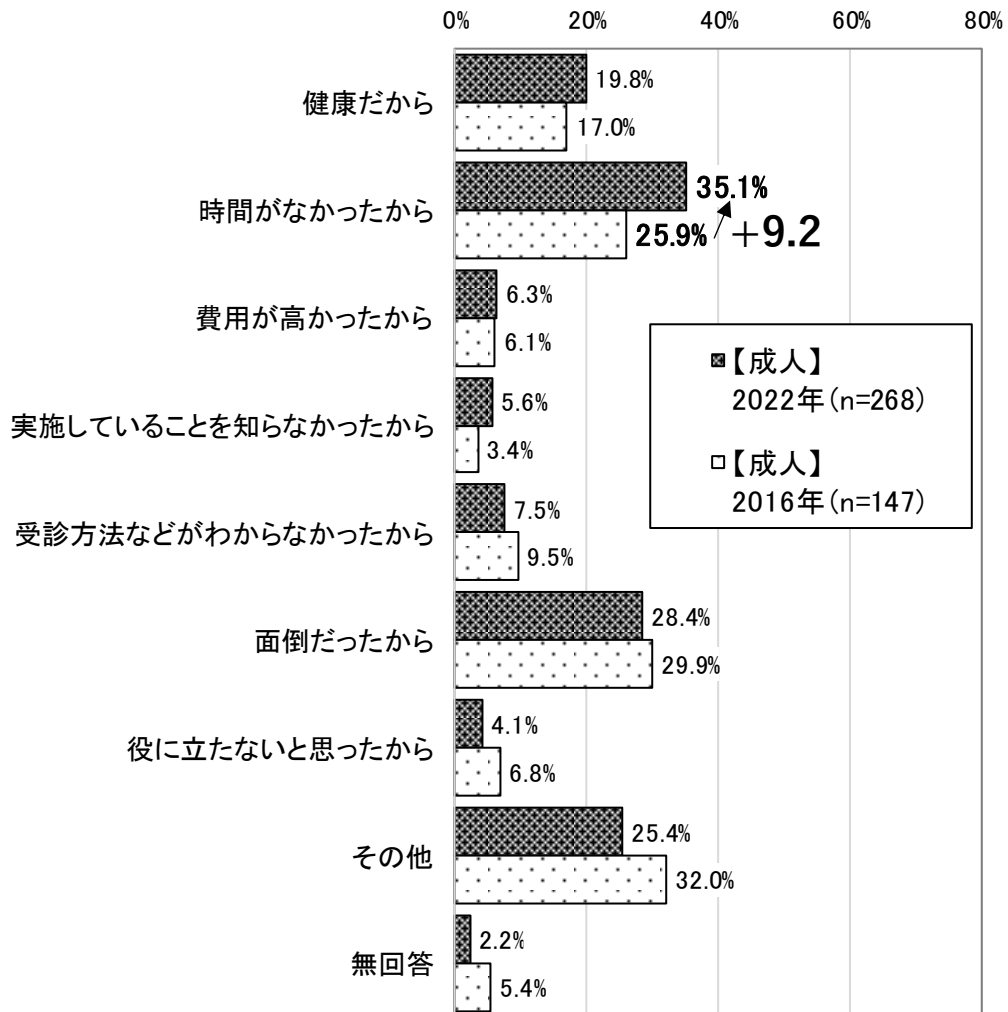


② 【①で「2 ない」と回答した方にお伺いします。】

健康診査・検診を受けないのは、なぜですか。(〇は2つまで)

「時間がなかったから」の割合が35.1%と最も高くなっています。

この結果を、2016年調査と比較すると、「時間がなかったから」の割合が25.9%から35.1%に9.2ポイント増加しています。



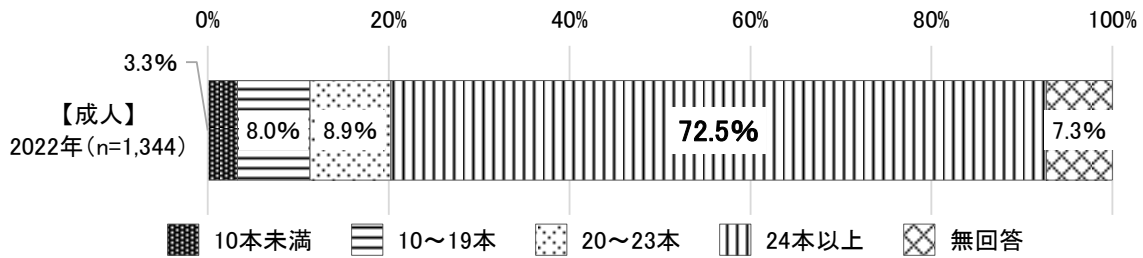
7 歯と口の健康について

(1) 現在の歯の本数

① 歯の数は何本ですか。()内に歯の本数を記載してください。

※入れ歯やインプラントは、自身の歯の数に含めません。

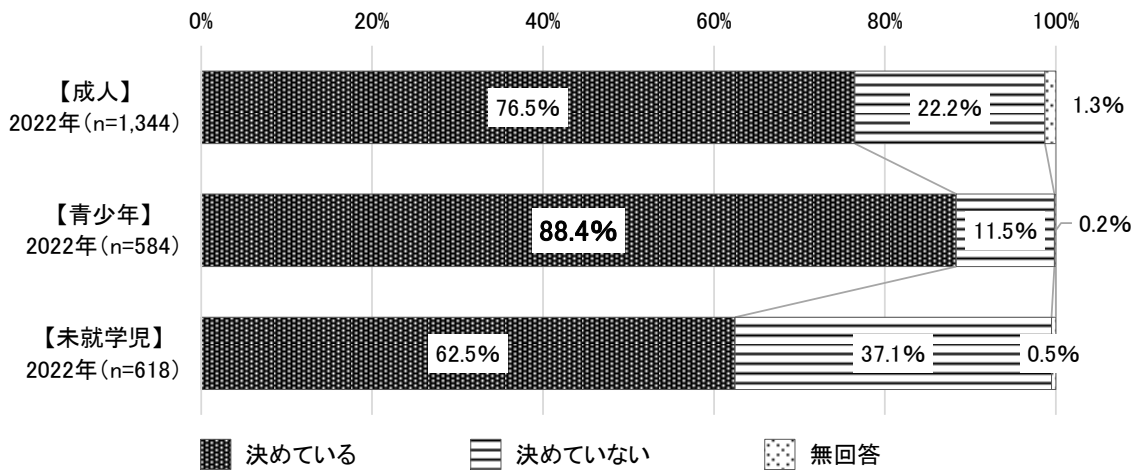
「24本以上」の割合が72.5%と最も高くなっています。平均の歯の本数は24.7本です。



(2) かかりつけ歯科医院の有無

② かかりつけ歯科医院を決めていますか。(○は1つ)

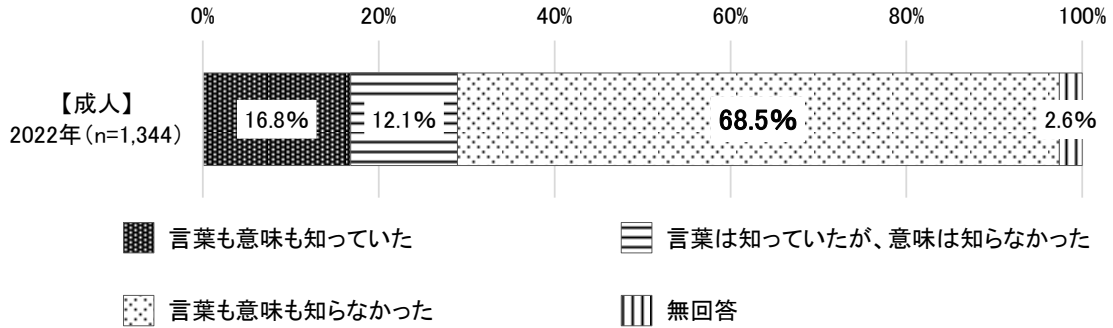
いずれも「決めている」の割合が高く、特に青少年保護者では88.4%となっています。



(3) オーラルフレイルの周知度

① 「オーラルフレイル」を知っていますか。(〇は1つ)

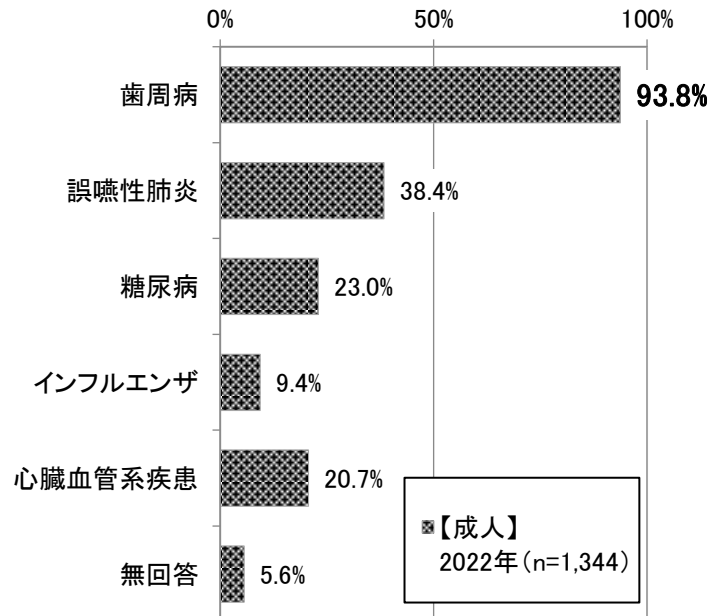
「言葉も意味も知らなかった」の割合が68.5%と最も高くなっています。



(4) 口腔ケアが十分に行われないと悪化させる病気

① 口腔ケアが十分に行われないと悪化させる病気について知っているものをすべて選択してください。(〇はいくつでも)

「歯周病」の割合が93.8%と最も高く、次いで「誤嚥性肺炎」が38.4%となっています。

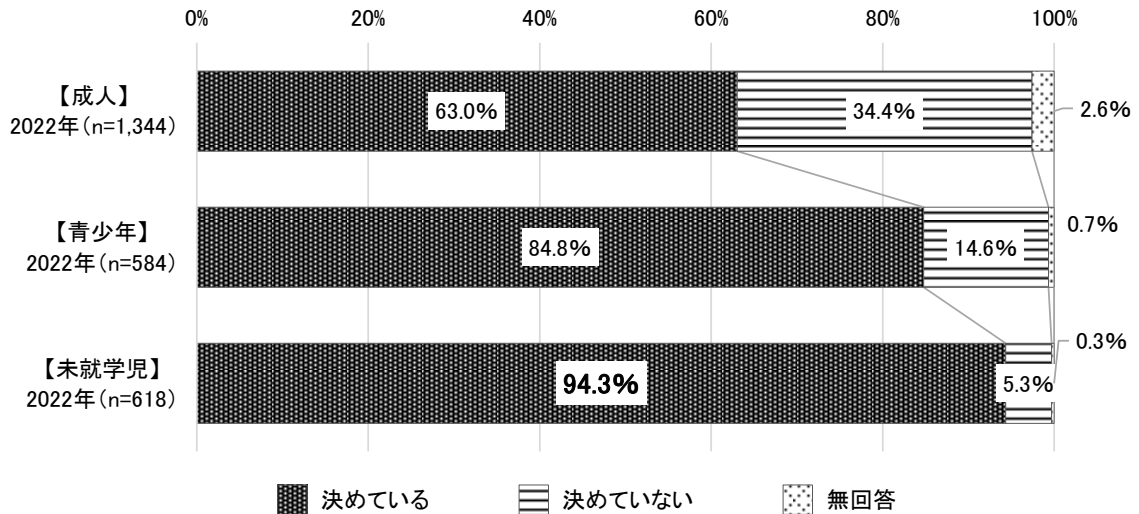


8 医療について

(1) 「かかりつけ医」の有無

① 「かかりつけ医」を決めていますか。(〇は1つ)

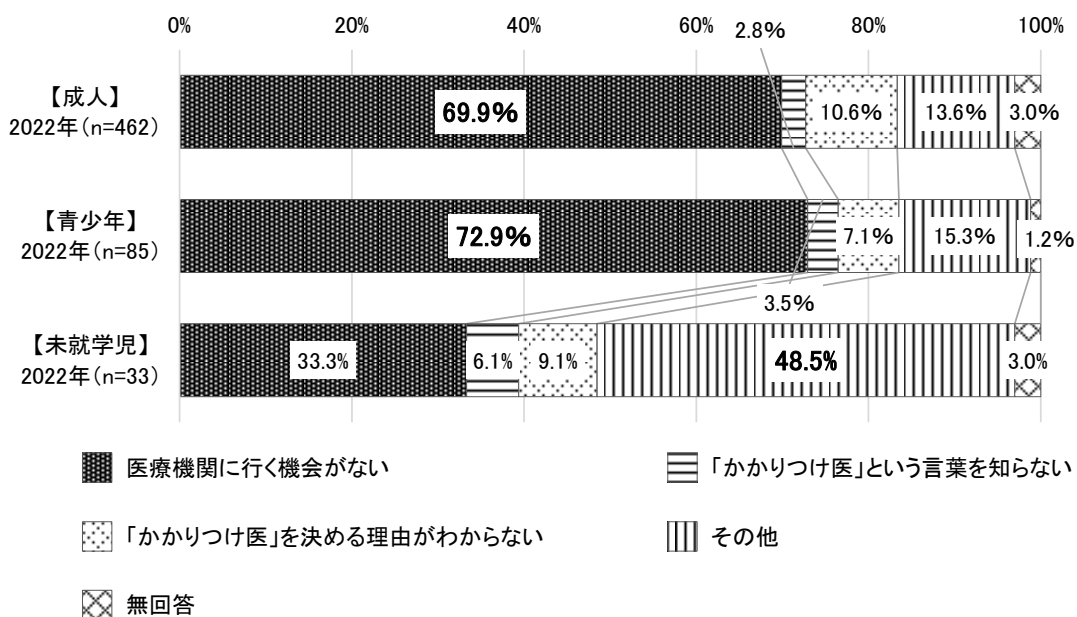
いずれも「決めている」の割合が高く、特に未就学児保護者では94.3%となっています。



② 【①で「2 決めていない」と回答した方にお伺いします。】

かかりつけ医を決めていない理由はなんですか。(〇は1つ)

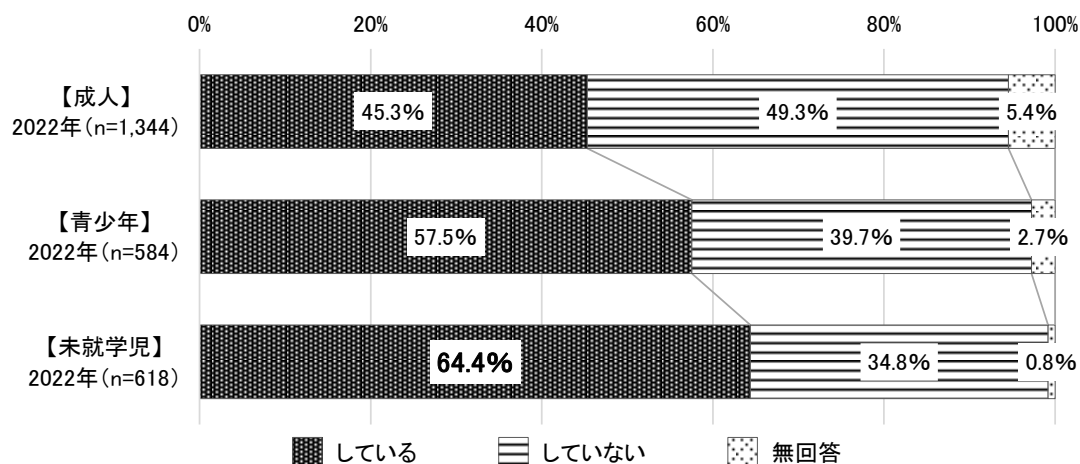
成人、青少年保護者では、「医療機関に行く機会がない」、未就学児保護者では「その他」の割合が最も高くなっています。なお、未就学児保護者のその他の理由では、「最近引っ越してきた」「適切な医院がない」などとなっています。



(2) 医療機関の満足度

① 町田市内の医療機関の量や質などに満足していますか。(〇は1つ)

いずれも「している」の割合が高く、特に未就学児保護者では64.4%となっています。

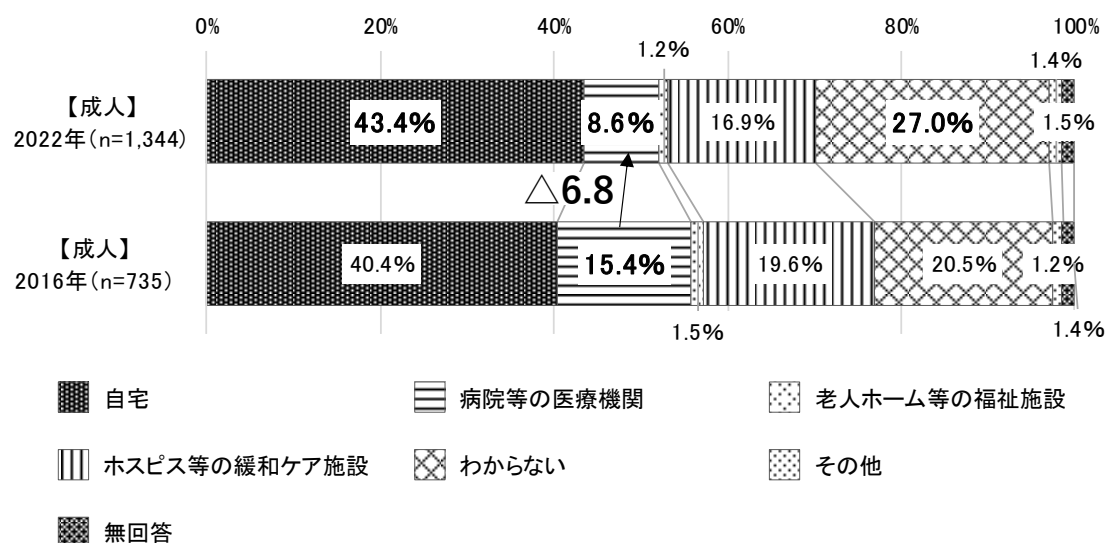


(3) 人生の最期を迎えたい場所

① 治る見込みのない病気になった場合、人生の最期をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

「自宅」の割合が43.4%と最も高く、ついで「わからない」が27.0%となっています。

この結果を、2016年調査と比較すると、「病院等の医療機関」の割合が15.4%から8.6%に6.8ポイント減少しています。

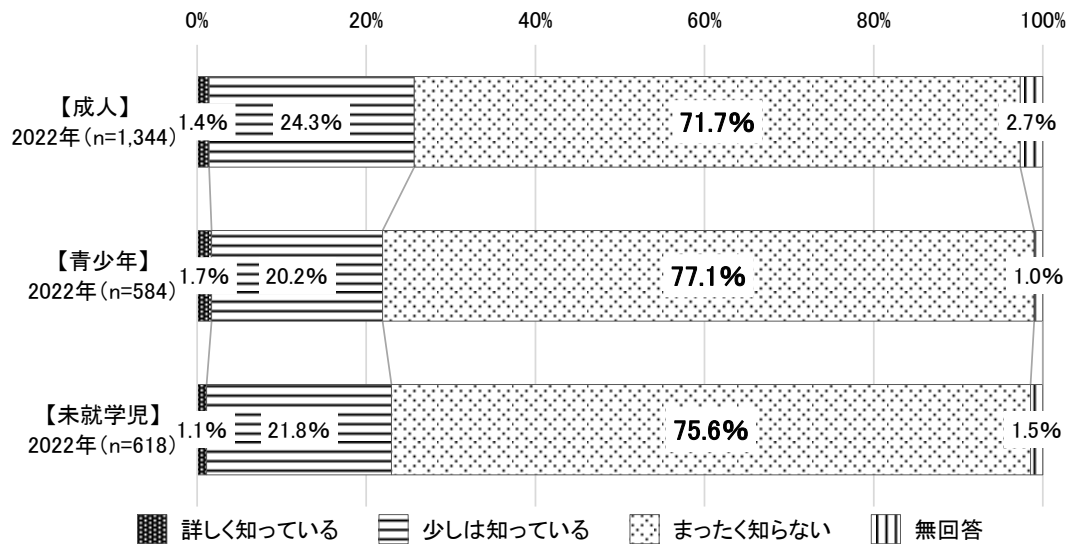


9 災害時の医療について

(1) 災害時の医療体制の認知状況

① 災害時の医療体制について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

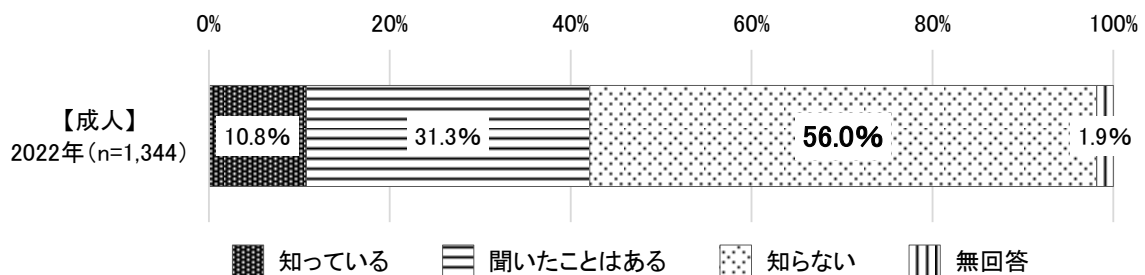
いずれも「まったく知らない」の割合が最も高くなっています。



(2) 「緊急医療救護所」の認知状況

① 「緊急医療救護所」は、地震などの大規模災害時に、病院の門前などで負傷者の治療の優先順位をつけたり、軽傷者の治療を行うために設置されます。あなたは、「緊急医療救護所」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が56.0%と最も高くなっています。

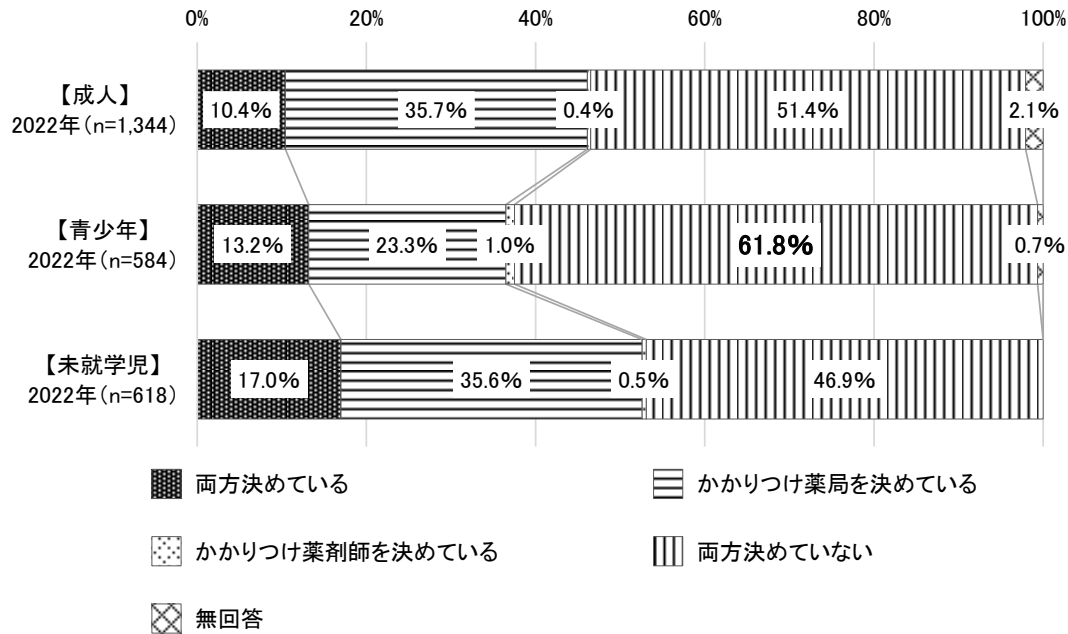


10 薬について

(1) 「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」の有無

① 「かかりつけ薬局」または、「かかりつけ薬剤師」を決めていますか。(〇は1つ)

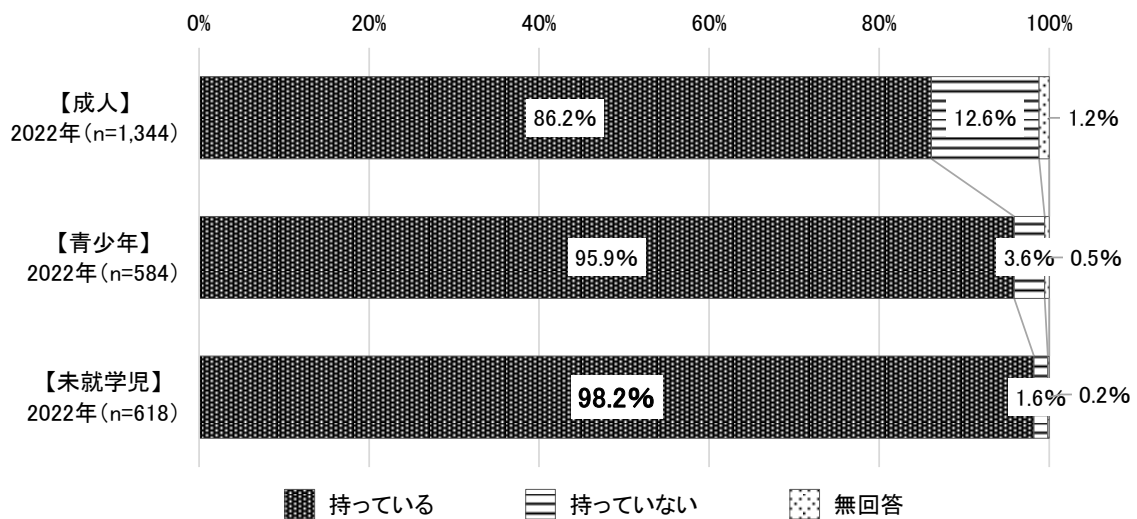
いずれも「まったく知らない」の割合が最も高く、特に青少年保護者では61.8%となっています。



(2) 「お薬手帳」の有無

② 「お薬手帳」を持っていますか。(〇は1つ)

いずれも「持っている」の割合が最も高く、特に未就学児保護者では98.2%となっています。

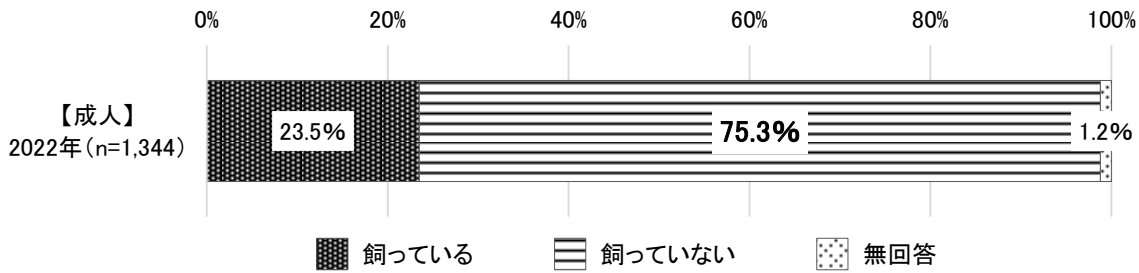


11 動物愛護について

(1) ペットの有無

① 今現在、ペットを飼っていますか。(〇は1つ)

「飼っていない」の割合が75.3%となっています。

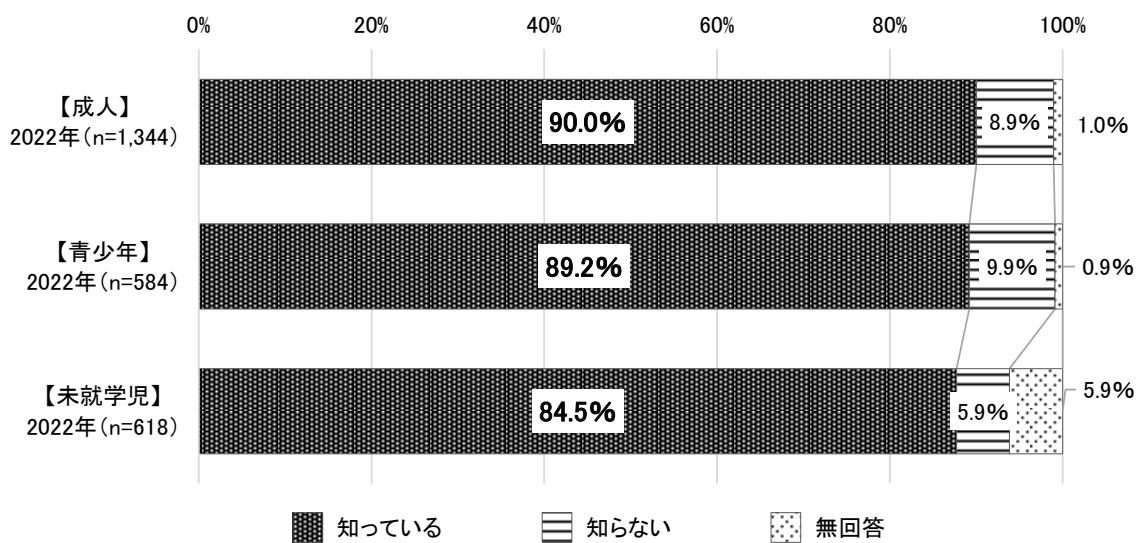


12 薬物乱用問題について

(1) 薬物乱用問題の認知状況

① 薬物乱用(大麻や覚せい剤、市販薬の乱用など)が、問題になっていることについて知っていますか。(〇は1つ)

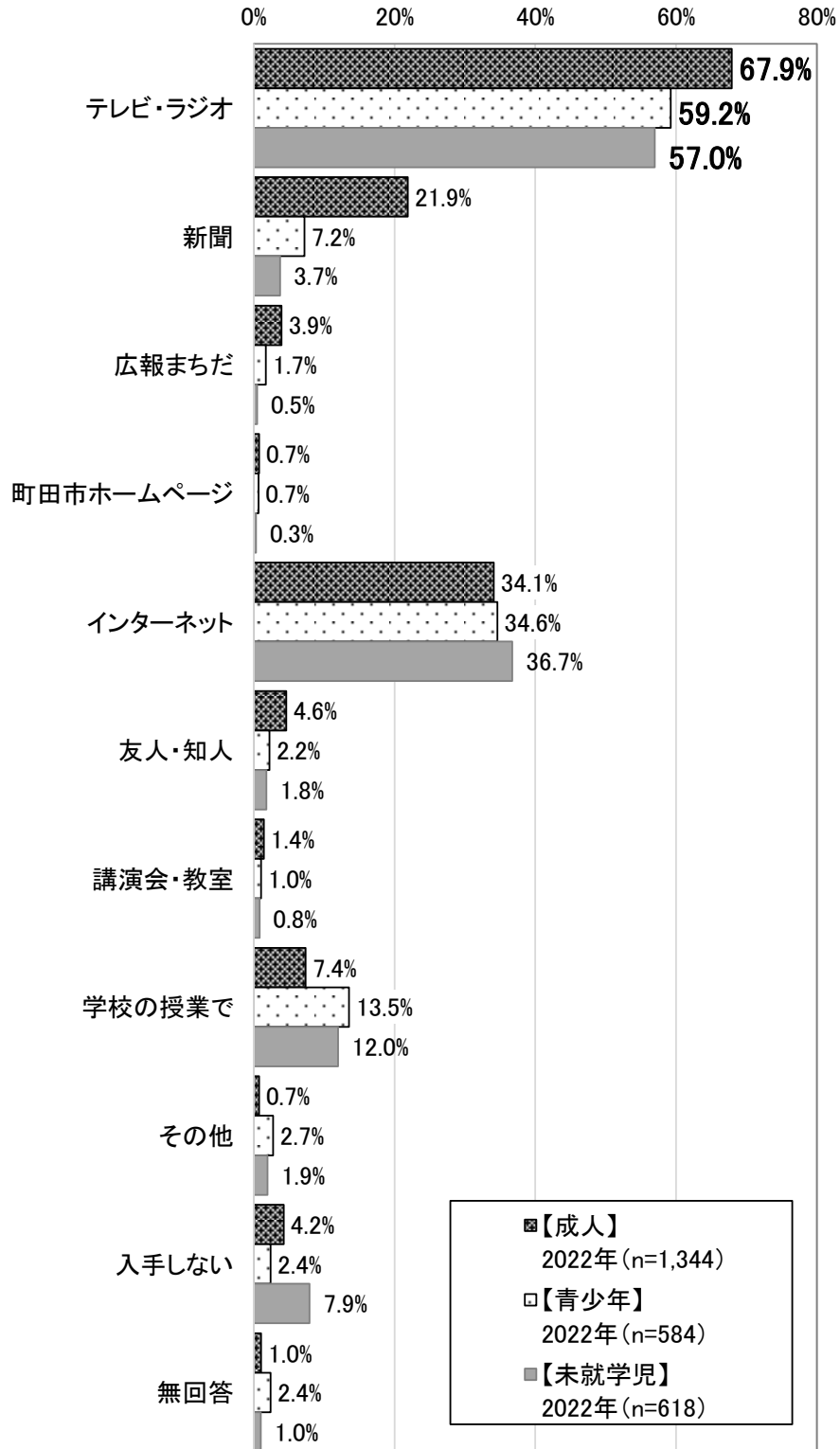
いずれも「知っている」の割合が最も高くなっています。



(2) 薬物乱用に関する危険性についての情報の入手先

① 薬物乱用に関する危険性についての情報はどこから入手しますか。(〇はいくつでも)

いずれも「テレビ・ラジオ」の割合が最も高くなっています。

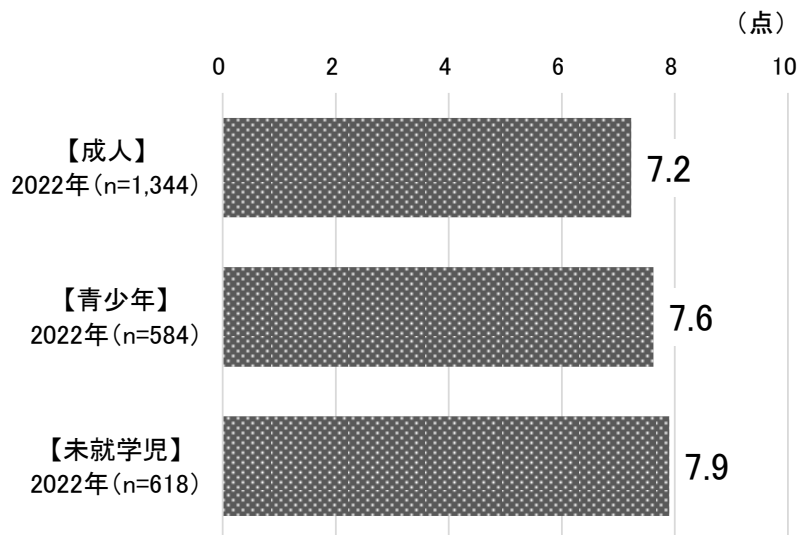


13 幸福度について

(1) 幸福度

① 幸福度は、10点満点とした場合、何点になりますか。(該当する点数に○は1つ)

幸福度の平均点は、成人が7.2点、青少年保護者が7.6点、未就学児保護者が7.9点となっています。

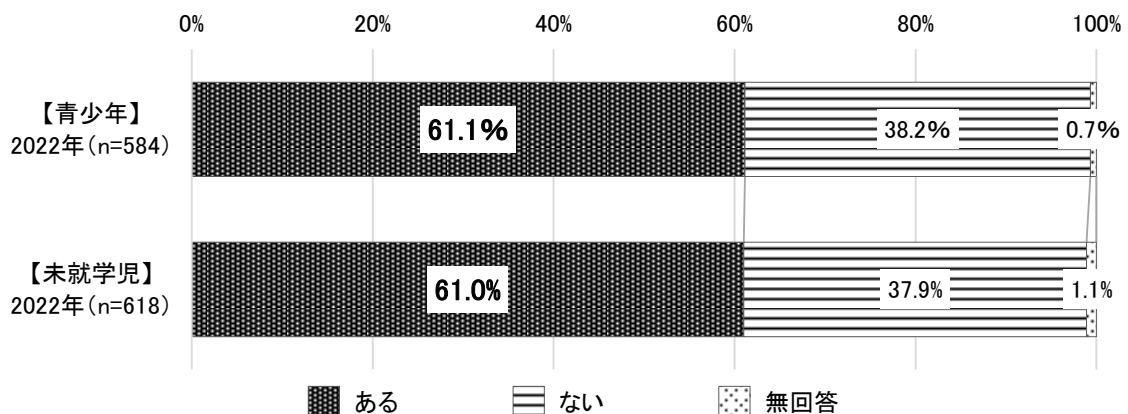


14 子育てについて

(1) くらしや生活のゆとり

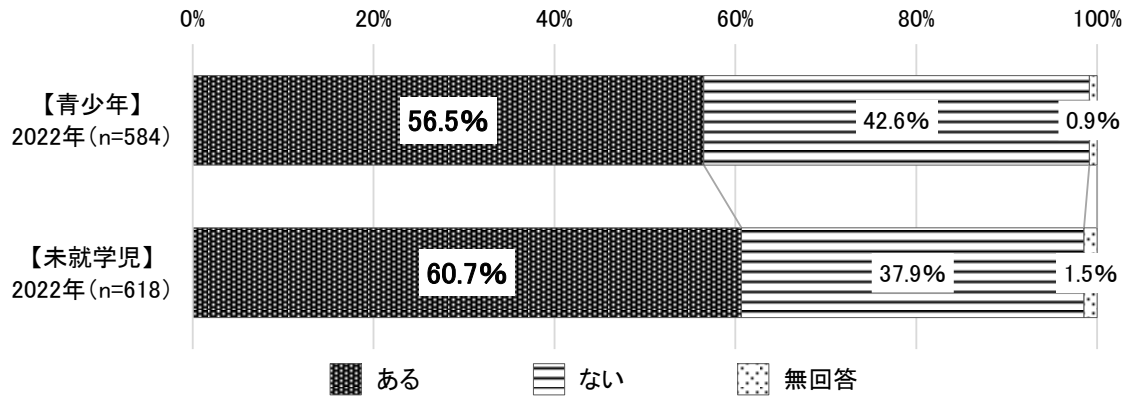
① くらしや生活にゆとりがありますか。(時間的な面から見て)

いずれも「ある」の割合が高くなっています。



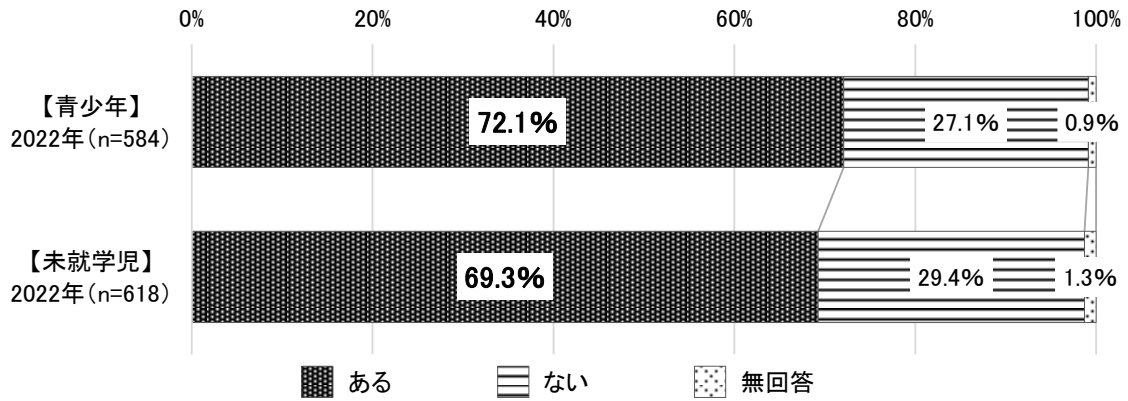
② くらしや生活にゆとりがありますか。(経済的な面から見て)

いずれも「ある」の割合が高くなっています。



③ くらしや生活にゆとりがありますか。(精神的な面から見て)

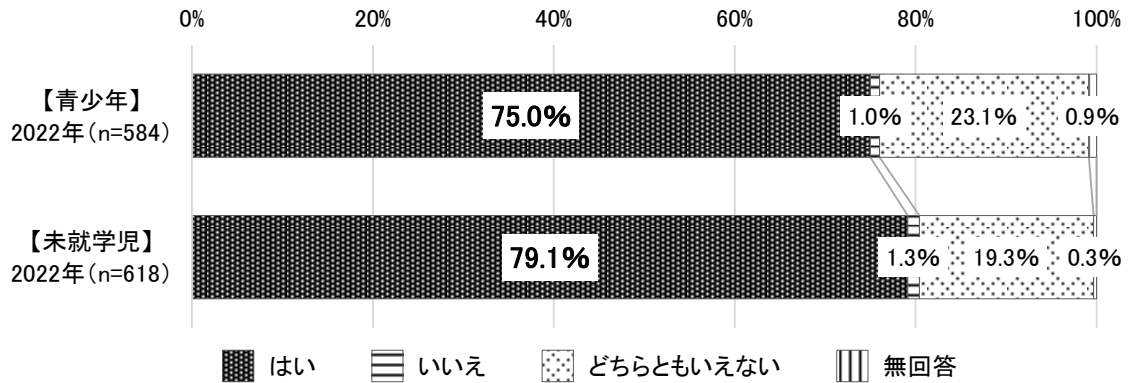
いずれも「ある」の割合が高くなっています。



(2) 子育てに思うこと

① 子育てが楽しいですか。(○は1つ)

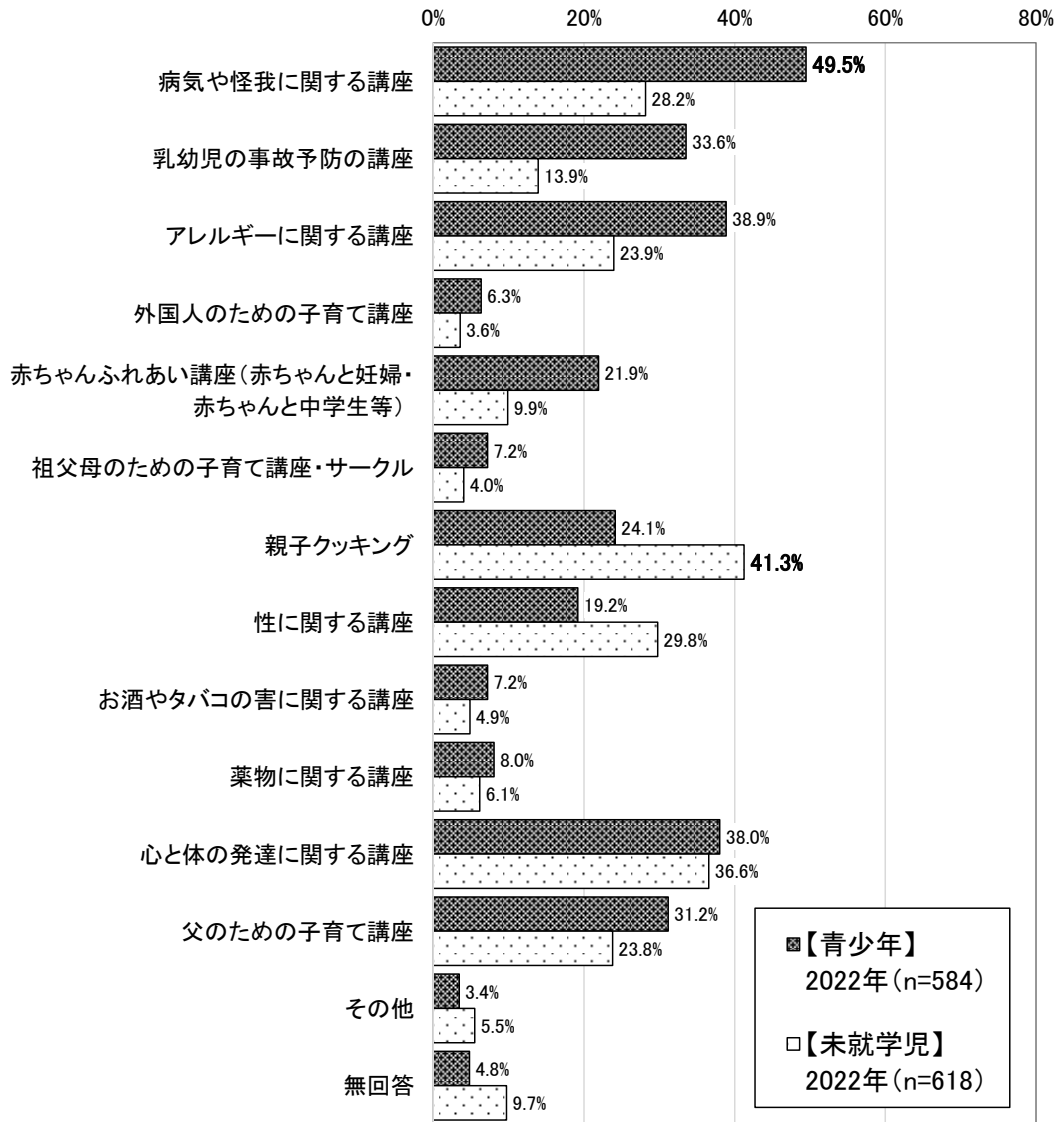
いずれも「はい」の割合が最も高くなっています。



(3) 乳幼児期にあったら良いと思う講座等

① お子さんと保護者を対象に実施する講座等で、乳幼児期にあったら良いと思うものがありますか。
(〇はいくつでも)

青少年保護者では「病気や怪我に関する講座」、未就学児保護者では「親子クッキング」の割合が高くなっています。



町田市民の保健医療意識調査報告書(概要版)

2023年3月発行

【発行】 町田市保健所保健総務課総務係
〒194-8520 町田市森野 2-2-22 7階 705 窓口
TEL : 042-724-4241

【集計・分析】 株式会社 地域計画連合
〒170-0004 豊島区北大塚 2-24-5
ステーションフロントタワー2階
TEL : 03-5974-2021